

【2021年度 実務経験のある教員による担当科目一覧】

教員	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
張 琪	基礎教育	情報化社会とグローバル化	2	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を学ぶ。
	国際教養	情報処理Ⅰ	4	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
	国際教養	情報処理Ⅱ	4	
エリック ホノベ	基礎教育	英文会計基礎	4	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
	国際教養	金融論	4	
	国際教養	国際会計論	4	
	国際教養	多国籍企業会計	4	
竹内 一真	基礎教育	キャリア形成論	4	複数大学でのキャリア指導経験を活かし、実践的・効果的な授業を行う。
新美 潤	国際教養	国際教養特別講義Ⅱ (国際政治)	4	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国(在ロサンゼルス総領事)、ポルトガル(特命全権大使)の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かし、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
	国際教養	国際法と国際機関	4	
橋詰 博樹	基礎教育	環境保全入門	2	厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力に従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。
	国際教養	エネルギーと環境	4	
	国際教養	資源と環境	4	
芦田 尚道	基礎教育	経営学入門	4	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、事例に即して紹介している。
	国際教養	マーケティング論	4	
金井 憲一郎	基礎教育	日本の法律	4	企業における法務を中心とした総務・人事等総務全般の実務経験を活かし、日本社会のいかなる場面でどのような法律が解釈・適用され、実社会における諸問題が法的にどのように解決されているのか、反面において解決されない問題点としてどのような諸問題が残されているのかにつき、それぞれの具体例も説示する。
浅原 房夫	基礎教育	コンピューター入門	4	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を活かし、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
萩原 浩一	ホスピタリティ・マネジメント	コミュニケーション	4	ラジオ番組でのDJ&パーソナリティ&テレビ番組キャスター&MC、各企業・団体のPR大使、タレント等としての経験を活かし、実践的なコミュニケーションのスキルについて学ぶ。
張 陽子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅠ	2	航空会社でのキャビンアテンダントの経験を活かし、現場に即したおもてなしやマナーを学ぶ。

教員	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
藤本 正俊	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅡ	2	大手旅行会社JTBのシンクタンクJTB総合研究所から講師を招き旅行業を含む観光事業全般の事業内容・特性について実際の現場の状況を通して理解することを目指す。
森 紀人	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅢ	－	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。
齋藤 享子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメントⅣ	2	ホテル産業、外食サービス産業に強いNKSから講師を招き、上記産業のトータルイメージ、産業構造・特性について具体的に学ぶ。
根本 潤子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅴ (世界遺産検定3級対策講座)	2	国際企業での勤務を経験した後、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。
	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅵ (世界遺産検定2級対策講座)	2	
林 雄一郎	国際教養	簿記	4	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。
長田 祥男	ゼミナール	プロジェクト・ゼミナールⅥ (日本伝統文化:いけばな理論と実践)	2	池坊鳳秀流家元として、数多くの華道展開催やいけばな教室等の伝統文化普及を行ってきた経験から、初心者にもわかりやすく日本の伝統文化を伝える。

計	84
基礎教育	22
専門	62

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	情報化社会とグローバル化		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Informatization and Globalization Society		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	Core / 選択必修	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ◎(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of informatization and globalization society, with strong execution abilities and broad horizons based on the awareness of carrying Japan's future by playing a major role in the world. They will be able to strictly rule themselves and have high ethical standards. The goal of this course is to deepen the understanding of social and technical infrastructure of the globalized information society, and acquire the basic knowledge of information and communication technology required by the global society. / 本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高いグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、情報化社会の社会・技術基盤についての理解を深め、グローバル社会に適応する情報通信技術の基礎知識を身に付けることである。
講義の概要 / Course Description	The realization of advanced information communication environment today is one of the most indispensable factors in social globalization. It is expected that further development of the information and communication technology, including ubiquitous technology, will accelerate the social globalization further in all the aspects of the human society. In this course, we will learn about the basic knowledge of information and communication technologies, and their social and technical infrastructure, as well as how our life, culture, and society are affected by the deployment of various information and communication technologies and diversified information media. We will also discuss the future development of globalization, and the related information technologies. 今日の高度な情報コミュニケーション環境の成立は、社会のグローバル化に不可欠な要因の一つといっても過言ではない。ユビキタス技術をはじめとする情報通信技術のさらなる発達は、人間社会のあらゆるレベルでのグローバル化をさらに加速させていくものと予想される。本講義では、情報通信技術の基礎知識を学び、その社会基盤や技術基盤、及び私たちの生活や文化、社会などのグローバル化にどのような形で貢献し、影響を及ぼしてきたかを学ぶとともに、グローバル化の発展や、それに対応する情報技術や倫理について論ずる。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 1.5 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture. 授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、1.5時間以上の取組が必要。
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Give feedback on the assignment by writing a comment. 課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Read course descriptions. 予習・復習のポイント：コース概要を読み終えていること。  Week 2: What is information /information society? 第2週：情報 / 情報化社会とは Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and complete the assignment. 予習・復習のポイント：第1週の学習内容を復習し、課題を完成しておくこと。  Week 3: Social foundations of ubiquitous information society 第3週：ユビキタス情報社会の社会基盤 Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第2週の学習内容を復習し、指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 4: Internet of things (IoT) & Information and communication technology (ICT)

第4週：モノのインターネットと情報通信技術

Student Pre-Class Preparation: Investigate the ubiquitous information services over the world.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：世界各国のユビキタス情報サービスについて調べておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 5: Information and communication technology in globalization age

第5週：グローバル化時代の情報通信技術

Student Pre-Class Preparation: Investigate the ubiquitous information services of overseas countries and prepare for the presentation.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：海外のユビキタス情報サービスについての発表を準備しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 6: Mechanisms of Computers (1)

第6週：コンピュータの仕組み (1)

Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of the information and communication technology (ICT).

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：情報通信技術の基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。

Week 7: Mechanisms of Computers (2)

第7週：コンピュータの仕組み (2)

Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of computer mechanisms.

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：コンピュータの仕組みについての基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。

Week 8: Information network

第8週：情報ネットワーク

Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of information network.

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：情報ネットワークの基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。

Week 9: Information collecting, processing, and transferring

第9週：情報収集、処理、発信

Student Pre-Class Preparation: Practice information collecting/processing/transferring procedures and prepare for the presentation.

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：情報収集・処理・発信の過程を練習し、発表を準備しておくこと。指定された課題を完成すること。

Week 10: Information security

第10週：情報セキュリティ

Student Pre-Class Preparation: Check and improve information security measures.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：自分の情報セキュリティ対策を確認・改善しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 11: What is globalization?

第11週：グローバル化とは

Student Pre-Class Preparation: Investigate the history, development and status of globalization following instructions given in the classes.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：授業中の指示に従って、グローバル化の歴史と発展・現状を事前調べておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 12: Application of ICT in globalization age

第12週：グローバル化時代における情報通信技術の応用

Student Pre-Class Preparation: Practice information collecting/processing/transferring procedures and prepare for the presentation.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：情報収集・処理・発信の過程を練習し、発表を準備しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 13: Information media in globalization age

第13週：グローバル化時代の情報メディア

Student Pre-Class Preparation: Investigate and consider on information media.

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：グローバル化時代の情報メディアを考察しておくこと。指定された課題を完成すること。

Week 14: Globalization and information ethics

第14週：グローバル化と情報倫理

Student Pre-Class Preparation: Investigate and consider on information ethics.

Complete the designated assignment.

予習・復習のポイント：グローバル化時代の情報倫理を考察しておくこと。指定された課題を完成すること。

	Week 15: Review 第15週：総復習 Student Pre-Class Preparation: Review the course contents and prepare for the final examination. 予習・復習のポイント：授業内容を復習し、学期末試験に向けて準備すること。		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	The course materials are available on T-NEXT, or delivered during the class. 授業資料はT-NEXTまたは授業中にて配布する。		
指定図書 / Course Readings	特になし		
参考文献 / Reference List	The course materials are available on T-NEXT, or delivered during the class. 授業資料はT-NEXTまたは授業中にて配布する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Class Participation / 授業参加: 20% Assignments and presentations / 課題及び発表: 20% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を学ぶ。
留意点 / Additional Information	- Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者が多い場合は抽選を行うため、必ず第1週の授業に出席すること。 - The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テストと学期末試験ですべて合格点以上を取ること。 - The presentations during the classes are compulsory. 授業中でのプレゼンは単位取得に必須である。		

2021/5/6

T-NEXT

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	情報処理 I		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Information Processing I		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ◎(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of word processing software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Word on the general specialist level.</p> <p>本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールとされる文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな機能を効果的に使いこなすスキルが身に付けることにより、表現力がある文書を効率よく作成できることである。世界で通じる国際資格MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験のWordスペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>This course focuses on the literacy of information processing, which is necessary not only in the academic studies during the student lives, such as writing reports or graduation theme, but also for various business activities after students graduate and enter the business society. In this course, students will acquire the skills of using word processing software. They are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Word, such as changing sizes and font types of characters, creating and editing tables, printing documents, and so on.</p> <p>この科目では、大学生活でのレポートや卒業論文の作成などに不可欠、かつ社会に出てからもビジネス活動で活用できる情報処理のリテラシー能力を身につける。文書処理ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。文字サイズやフォントの変更、表の作成・編集、作成した文書の印刷など、ワードソフトウェアの基本的な編集機能を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.</p> <p>授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Give feedback on the assignment by writing a comment.</p> <p>課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction            第1週： イントロダクション            Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions            予習・復習のポイント： シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: Manage documents #1: Navigate within documents / Format documents ①            第2週： 文書の管理 #1: 文書内を移動する/文書の書式を設定する①            Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and read Chapter 1 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.            予習・復習のポイント： 第1週の授業内容を復習し、教科書の第1章第1節から第2節までを読んでおくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 3: Manage documents #2: Format documents ② / Save and share documents ①            第3週： 文書の管理 #2: 文書の書式を設定する②/文書を保存する、共有する①            Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2 and read Chapter 1 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.</p>

予習・復習のポイント：第2週の授業内容を復習し、教科書の第1章第2節から第3節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 4: Manage documents #3: Save and share documents ② / Inspect documents for issues

第4週：文書の管理 #3: 文書を保存する、共有する②/文書を検査する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 3 and read Chapter 1 Section 4 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第3週の授業内容を復習し、教科書の第1章第3節から第4節までを読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 5: Insert and format text, paragraphs, and sections: Insert and format text and paragraphs / Create and configure document sections

第5週：文字、段落、セクションの挿入と書式設定: 文字列や段落を挿入する、書式を設定する/文書にセクションを作成する、設定する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 4 and read Chapter 2 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第4週の授業内容を復習し、教科書の第2章を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 6: Manage tables and lists #1: Create and modify tables

第6週：表やリストの管理 #1：表を作成する、変更する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 5 and read Chapter 3 Section 1 to 2 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第5週の授業内容を復習し、教科書の第3章第1節から第2節までを読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 7: Manage tables and lists #2: Create and modify lists

第7週：表やリストの管理 #2：リストを作成する、変更する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 6 and read Chapter 2 Section 1 to 2 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第6週の授業内容を復習し、教科書の第3章第3節を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 8: Create and manage references #1: Create and manage reference elements

第8週：参考資料の作成と管理 #1：参照のための要素を作成する、管理する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 7 and read Chapter 4 Section 1 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第7週の授業内容を復習し、教科書の第4章第1節を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 9: Create and manage references #2: Create and manage reference tables / Insert and format graphic elements #1: Insert illustrations and text boxes

第9週：参考資料の作成と管理 #2：参照のための一覧を作成する、管理する/グラフィック要素の挿入と書式設定 #1：図やテキストボックスを挿入する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 8 and read Chapter 4 Section 2 and Chapter 5 Section 1 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第8週の授業内容を復習し、教科書の第4章第2節と第5章第1節を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 10: Insert and format graphic elements #2: Format illustrations and text boxes

第10週：グラフィック要素の挿入と書式設定 #2：図やテキストボックスを書式設定する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 9 and read Chapter 5 Section 2 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第9週の授業内容を復習し、教科書の第5章第2節を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 11: Insert and format graphic elements #3: Add text to graphic elements / Modify graphic elements

第11週：グラフィック要素の挿入と書式設定 #3：グラフィック要素にテキストを追加する/グラフィック要素を変更する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 10 and read Chapter 5 Section 3 to Chapter 4 Section 2 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第10週の授業内容を復習し、教科書の第5章第3節から第4節までを読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 12: Manage document collaboration: Add and manage comments / Manage change tracking

第12週：文書の共同作業の管理：コメントを追加する、管理する/変更履歴を管理する

Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 11 and read Chapter 5 Section 2 and 3 of the textbook.

Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.

予習・復習のポイント：第11週の授業内容を復習し、教科書の第6章を読んでおくこと。

指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 13: Overall summary exercises #1: Practice Exam #1

第13週：総まとめ総合演習 #1：模擬試験1回目

Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination.

	<p>Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  予習・復習のポイント：授業内容を復習し、模擬試験1回目に向けて準備すること。  指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 14: Overall summary exercises #2: Practice Exam #2  第14週：総まとめ総合演習 #2：模擬試験2回目  Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination.  Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  予習・復習のポイント：模擬試験1回目を復習し、模擬試験2回目に向けて準備すること。  指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 15: MOS Examination  第15週：MOS試験  Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for MOS examination.  予習・復習のポイント：模擬試験1、2回目及び本科目の全内容を復習し、MOS試験に向けて準備すること。</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	『よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集』， FOM出版, 2020年.		
指定図書 / Course Readings	MOS攻略問題集Word 365&2019, 佐藤 薫, 日経BP, 2020年.		
参考文献 / Reference List	授業中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation and assignments / 授業参加及び課題:30% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	The “Introduction to Computers” course is a prerequisite for this course. 「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
留意点 / Additional Information	<input checked="" type="checkbox"/> The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テスト及び学期末試験はすべて合格点以上取れること。 <input checked="" type="checkbox"/> Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。 <input checked="" type="checkbox"/> Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which “Microsoft Office Professional Plus 2019” has been installed. オンライン受講する場合は、Windows PCを使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。		



講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	情報処理 II		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Information Processing II		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ◎(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of spreadsheet software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Excel software on the general specialist level. / 本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールの一つとされる表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな処理・分析方法を使いこなすスキルが身に付けることにより、データを効率よく処理・分析、及びグラフなどで表現できるようになることである。世界で通じる国際資格MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験のExcelスペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。
講義の概要 / Course Description	Spreadsheet is a necessary tool not only for academic studies but also for business society. The ability of summarizing data efficiently, processing them properly, and presenting the results with graphs to make them easy to be understood, is the basic ability for us to live in the formation society. In this course, students will acquire the literacy skills of information processing through learning the usage of spreadsheet software. Students are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Excel, such as creating formula and basic functions, setting formats of cells, creating graphs, and so on. / 表計算は学生生活だけではなく、ビジネス社会に必須なツールになっている。データを効率よく纏め、適切に処理した上、グラフなどで分かりやすく表現する能力は情報社会で生きるための基本能力である。この科目では、表計算ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。数式や基本的な関数の作成、セルの書式設定、グラフ作成など、エクセルソフトウェアの基本的な操作を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture. / 授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要。
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Give feedback on the assignment by writing a comment. / 課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: Create and manage worksheets and workbooks #1: Navigate within workbooks / Format worksheets &amp; workbooks 第2週： ワークシートやブックの作成と管理 #1: ブック内を移動する/ワークシートやブックの書式を設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and read Chapter 1 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント： 第1週の授業内容を復習し、教科書の第1章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 3: Create and manage worksheets and workbooks #2: Customize options and views 第3週： ワークシートやブックの作成と管理 #2: オプションと表示をカスタマイズする Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2 and read Chapter 1 Section 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.</p>

予習・復習のポイント：第2週の授業内容を復習し、教科書の第1章第3節を読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 4: Create and manage worksheets and workbooks #3: Configure content for collaboration / Import data into workbooks  
第4週：ワークシートやブックの作成と管理 #3: 共同作業のためにコンテンツを設定する/ブックにデータをインポートする  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 3 and read Chapter 1 Section 4 to 5 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第3週の授業内容を復習し、教科書の第1章第4節から第5節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 5: Manage the data in cells and cell ranges #1: Manipulate data in worksheets / Format cells and ranges ①  
第5週：セルやセル範囲のデータの管理 #1：シートのデータを操作する/セルやセル範囲の書式を設定する①  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 4 and read Chapter 2 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第4週の授業内容を復習し、教科書の第2章第1節から第2節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 6: Manage the data in cells and cell ranges #2: Format cells and ranges ②  
第6週：セルやセル範囲のデータの管理 #2：セルやセル範囲の書式を設定する②  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 5 and read Chapter 2 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第5週の授業内容を復習し、教科書の第2章第2節を読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 7: Manage the data in cells and cell ranges #3: Define and reference named ranges / Summarize data visually ①  
第7週：セルやセル範囲のデータの管理 #3：名前付き範囲を定義する、参照する/データを視覚的にまとめる①  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 6 and read Chapter 2 Section 3 to 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第6週の授業内容を復習し、教科書の第2章第3節から第4節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 8: Manage the data in cells and cell ranges #4: Summarize data visually ②  
第8週：セルやセル範囲のデータの管理 #4：データを視覚的にまとめる②  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 7 and read Chapter 2 Section 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第7週の授業内容を復習し、教科書の第2章第4節を読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 9: Manage tables and table data: Create, format, and modify tables / Filter and sort table data  
第9週：テーブルとテーブルのデータの管理：テーブルを作成・変更する、書式設定する/テーブルのデータをフィルターする、並べ替える  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 8 and read Chapter 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第8週の授業内容を復習し、教科書の第3章を読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 10: Perform operations by using formulas and functions #1: Insert references / Calculate and transform data ①  
第10週：数式や関数を使用した演算の実行 #1：参照を追加する/データを計算する、加工する①  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 9 and read Chapter 4 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第9週の授業内容を復習し、教科書の第4章第1節から第2節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 11: Perform operations by using formulas and functions #2: Calculate and transform data ② / Format and modify text / Manage graphs #1: Create graphs  
第11週：数式や関数を使用した演算の実行 #2：データを計算する、加工する② / 文字列を変更する、書式設定する/グラフの管理 #1：グラフを作成する  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 10 and read Chapter 4 Section 2 to 3 & Chapter 5 Section 1 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第10週の授業内容を復習し、教科書の第4章第2節から第3節までと第5章第1節を読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 12: Manage graphs #2: Modify graphs / Format graphs  
第12週：グラフの管理 #2：グラフを変更する/グラフを書式設定する  
Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 11 and read Chapter 5 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：第11週の授業内容を復習し、教科書の第5章第2節から第3節までを読んでおくこと。  
指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。

Week 13: Overall summary exercises #1: Practice Exam #1  
第13週：総まとめ総合演習 #1：模擬試験1回目  
Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  
予習・復習のポイント：授業内容を復習し、模擬試験1回目に向けて準備すること。

	<p>指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 14: Overall summary exercises #2: Practice Exam #2  第14週：総まとめ総合演習 #2：模擬試験2回目  Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination.  Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline.  予習・復習のポイント：模擬試験1回目を復習し、模擬試験2回目に向けて準備すること。  指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 15: MOS Examination  第15週：MOS試験  Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for MOS examination.  予習・復習のポイント：模擬試験1、2回目及び本科目の全内容を復習し、MOS試験に向けて準備すること。</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	『よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集』，FOM出版，2020年。		
指定図書 / Course Readings	MOS攻略問題集Excel 365&2019，土岐 順子，日経BP，2020年。		
参考文献 / Reference List	授業中に指定する		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation and assignments / 授業参加及び課題:30% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	The “Introduction to Computers” course is a prerequisite for this course. 「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
留意点 / Additional Information	<input checked="" type="checkbox"/> The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テストと学期末試験はすべて合格点以上取れること。 <input checked="" type="checkbox"/> Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。 <input checked="" type="checkbox"/> Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which “Microsoft Office Professional Plus 2019” has been installed. オンライン受講する場合は、Windows PCを使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	英文会計基礎		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Fundamental Accounting in English		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	General / 共通	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ◎(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】		
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習		
到達目標 / Course Goals	The goals of this course are to acquire skills for analyzing and understanding financial statements in English, to become familiar with fundamentals of management accounting and accounting value calculations in English, and to learn how to translate basic accounting concepts from Japanese to English. 本講義の目標は英文財務諸表を理解し分析できる能力を取得し、管理会計および原価計算の基本を英語で理解出来るように成り、基本の会計概念の英訳ができるようになることである。		
講義の概要 / Course Description	Corporate accounting is a system for representing the economic activities of a firm in monetary terms. For example, one can understand the operating activities of a firm by looking at its financial statements. In this course, we learn how to analyze basic principles of the financial statements of a firm and how to read financial statements in English. Also, to further our understanding of these concepts, examples of the accounting transactions of a firm are simulated during the lectures. 企業会計は、企業の経済活動を貨幣価値で表現するための仕組みである。企業の財務諸表を見ることで、企業がどのような事業活動を行っているかを理解することができる。本講義では、企業における財務会計の基本的な考え方と英文財務諸表の見方・分析方法を学ぶ。また、授業の中で企業における取引の設例による演習を行うことで理解を深める。		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed). ・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations. 課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。		
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Chapter 1: Introduction 第1週：第1章 基本原則 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章  Week 2: Chapter 2: Balance Sheet Changes; Income Measurement 第2週：第2章、前半 貸借対照表の変化：利益の測定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半  Week 3: Chapter 3: Accounting Records and System 第3週：第3章、後半 貸借対照表の変化：利益の測定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、後半  Week 4: Chapter 4, first half: Revenues and Monetary Assets 第4週：第4章、前半 収益と貨幣制資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半  Week 5: Chapter 4, second half: Revenues and Monetary Assets 第5週：第4章、後半 収益と貨幣制資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半		

				<p>Week 6: Chapter 5, first half: Expense Measurement; The Income Statement 第 6 週：第 5 章、前半 費用の測定：損益計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 5 章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half: Expense Measurement; The Income Statement 第 7 週：第 5 章、後半 費用の測定：損益計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 5 章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 6, first half: Inventories and Cost of Sales 第 8 週：第 6 章、前半 棚卸資産と売上原価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 6 章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 6, second half: Inventories and Cost of Sales 第 9 週：第 6 章、後半 棚卸資産と売上原価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 6 章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 7, first half: Noncurrent Assets and Depreciation 第 10 週：第 7 章、前半 固定資産と減価償却 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 7 章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 7, second half: Noncurrent Assets and Depreciation 第 11 週：第 7 章、後半 固定資産と減価償却 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 7 章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 8, first half: Liabilities and Equity 第 12 週：第 8 章、前半 負債および純資産の部 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 8 章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 8, second half: Liabilities and Equity 第 13 週：第 8 章、後半 負債および純資産の部 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 8 章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 9, first half: Statement of Cash Flows 第 14 週：第 9 章、前半 キャッシュフロー計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 9 章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 9, second half: Statement of Cash Flows 第 15 週：第 9 章、後半 キャッシュフロー計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 9 章、後半</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載				
教科書 / Textbook				<p>会計学入門〈第5版〉桜井 久勝 (著) 出版社：日本経済新聞出版; 第5版 (2018)</p>
指定図書 / Course Readings				John Wild, Ken Shaw (2018). Fundamental Accounting Principles (24th Edition). McGraw-Hill.
参考文献 / Reference List				<p>None in particular. 特になし</p>
評価方法 / Method of Evaluation				<p>Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%</p>
事前履修科目等 / Prerequisite				<p>None in particular. 特になし</p>
実務経験 / Work Experiences		有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
留意点 / Additional				None in particular.

Information	特になし
-------------	------

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	金融論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Theory of Finance		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ◎(2) 思考と判断【考え抜く力】 ○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】		
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習		
到達目標 / Course Goals	Our main goal in Theory of Finance is to understand the financial situation of a firm from the point of view of funding from banks and stockholders. Other goals include to acquire basic concepts regarding financial markets, such as common stock, long-term bonds, currency exposure and others, and to apply our understanding of these concepts to financial examples of actual companies. 金融論は会社の経営状態を資金の観点から把握する学問である。基礎知識の習得と実際の証券市場及び証券市場からみた経済について理解することにある。株式・債券・為替など証券金融市場について基礎知識を習得し、経済活動や企業行動の実際の動きに対する理解を深め基本的な概念を身につける。		
講義の概要 / Course Description	In this course, students are introduced to the financial world. We learn how financial markets work, how corporate bonds and stocks are issued, and how large companies aim at finding a balance between large profits and the risk of going bankrupt. Also, we learn how large companies manage their money and debt, and how companies decide to invest in new projects such as modernizing their equipment, building new branches and new factories, or starting a new line of products. Finally, we look at how companies attempt to attract more stockholders by giving them high dividend payments and other such benefits. 本講義は金融市場の構成、社債券や株式発行等の金融の基礎を学習する。大手企業の資産と負債の管理方法、設備投資や新支店・工場の建設、新商品の生産などの企画に投資する意思決定を学び、大手企業がどのような方法で高利益と倒産のリスク回避のバランスを見極めるか等も学ぶ。講義後半には、株主からの継続的な資金投資を受けるための高い配当金や株主の特別待遇の方針を学習する。		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed). ・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations. 課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。		
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Chapter 1: Finance and the Financial Manager 第1週：第1章: ファイナンスと財務担当者 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章  Week 2: Chapter 2, first half: Present Values, the Objectives of the Firm, and Corporate Governance 第2週：第2章、前半: 現在価値、企業の目的とコーポレート・ガバナンス Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半  Week 3: Chapter 2, second half: Present Values, the Objectives of the Firm, and Corporate Governance 第3週：第2章、後半: 現在価値、企業の目的とコーポレート・ガバナンス Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、後半  Week 4: Chapter 3, first half: How to Calculate Present Values 第4週：第3章、前半: 現在価値の計算 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、前半  Week 5: Chapter 3, second half: How to Calculate Present Values 第5週：第3章、後半: 現在価値の計算		

				<p>Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、後半</p> <p>Week 6: Chapter 4, first half: Valuing Bonds 第6週：第4章、前半: 債権の評価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 4, second half: Valuing Bonds 第7週：第4章、後半: 債権の評価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 7, first half: Making Investment Decisions with the Net Present Value Rule 第8週：第7章、前半: 純現在価値ルールによる投資判断 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 7, second half: Making Investment Decisions with the Net Present Value Rule 第9週：第7章、後半: 純現在価値ルールによる投資判断 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 15, first half: An Overview of Corporate Financing 第10週：第15章、前半: 企業の資金調達概要 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 15, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第15章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 15, second half: An Overview of Corporate Financing 第11週：第15章、後半: 企業の資金調達概要 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 15, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第15章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 16, first half: How Corporations Issue Securities 第12週：第16章、前半: 企業はどのように証券を発行するのか Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 16, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第16章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 16, second half: How Corporations Issue Securities 第13週：第16章、後半: 企業はどのように証券を発行するのか Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 16, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第16章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 17, first half: Payout Policy 第14週：第17章、前半: ペイアウト政策 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 17, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第17章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 17, second half: Payout Policy 第15週：第17章、後半: ペイアウト政策 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 17, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第17章、後半</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載				
教科書 / Textbook				本合曉詩『英語で学ぶコーポレートファイナンス入門』第2版、中央経済社、2019年
指定図書 / Course Readings				Brealey, Myers, et al. (2019). Principles of Corporate Finance (13th ed.). McGraw-Hill.
参考文献 / Reference List				None in particular. 特になし
評価方法 / Method of Evaluation				Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%
事前履修科目等 / Prerequisite				None in particular. 特になし
実務経験 / Work Experiences		有	授業への実務経験の活用 /	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。



2021/5/6			T-NEXT
		Practical Contents	
留意点 / Additional Information	None in particular. 特になし		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	国際会計論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	International Accounting		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<p><input checked="" type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク（ペアワーク）</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>フィールドワーク</p> <p><input type="checkbox"/>実習</p>
到達目標 / Course Goals	<p>Internationalization is a current of modern society. It permeates, needless to say, politics and culture, and has repercussions in the world of accounting. In this course, our main goal is to master principles involved in preparing and presenting financial statements based on international standards. Also, we aim at becoming aware of the role and importance of such financial statements when considering concepts such as accuracy in financial reporting and its regulatory systems, efficient capital markets, and the information flow in market economies.</p> <p>国際化は現代社会の潮流である。この流れは、政治や文化は言うに及ばず、会計の世界にも及んでいる。本授業では、国際基準の財務諸表の作成が要請される背景や作成原理、表示方法をマスターすることを目標とする。授業目標は財務諸表制度が公正かつ健全な資本市場の形成とともに市場経済基盤の確立のため、いかに重要な役割を担っているかを受講者が認識するように努力するところにある。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, students develop skills necessary to assess the business performance of international companies by analyzing and interpreting their financial statements. We focus on cash liquidity, inventory turnover, income tax shield, investment in assets, issuance of debt, and other key factors in assessing a company's management efficiency and profitability. In particular, we learn not only how financial statements are generated, but also, and more importantly, how differences in accounting methods can affect a company's reported financial condition, results of operations, cash flows and profitability ratios.</p> <p>本講義では、学生が企業の財務諸表を的確に分析・解釈し、その企業の業績を評価するための必要なスキルを身につける。具体的に、「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」の分析を実際の会社の財務諸表を用いながら学びます。企業の効率や収益性を評価するための主な要因、例えば、支払能力、在庫回転率、所得税、資産投資、社債発行などに焦点を当てる。また、財務諸表の作成方法だけではなく、会計方法の違いがいかに経営業績、収益性比率、キャッシュフロー等に影響を与えるかという事も学習する。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).</p> <p>・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations.</p> <p>課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1: Financial Statement Analysis: An Introduction 第1週：第1章: 財務諸表分析入門 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2, first half: Financial Reporting Mechanics 第2週：第2章の前半: 財務報告の仕組み Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章の前半</p> <p>Week 3: Chapter 2, second half: Financial Reporting Mechanics 第3週：第2章の後半: 財務報告の仕組み Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章の後半</p> <p>Week 4: Chapter 4, first half: Understanding the Income Statement</p>

	<p>第4週：第4章の前半: 損益計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章の前半</p> <p>Week 5: Chapter 4, second half: Understanding the Income Statement 第5週：第4章の後半: 損益計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章の後半</p> <p>Week 6: Chapter 5, first half: Understanding the Balance Sheet 第6週：第5章の前半: 貸借対照表の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章の前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half: Understanding the Balance Sheet 第7週：第5章の後半: 貸借対照表の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章の後半</p> <p>Week 8: Chapter 6, first half: Understanding the Cash Flow Statement 第8週：第6章の前半: キャッシュフロー計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第6章の前半</p> <p>Week 9: Chapter 6, second half: Understanding the Cash Flow Statement 第9週：第6章の後半: キャッシュフロー計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第6章の後半</p> <p>Week 10: Chapter 7, first half: Financial Analysis Techniques 第10週：第7章の前半: 財務分析の手法 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章の前半</p> <p>Week 11: Chapter 7, second half: Financial Analysis Techniques 第11週：第7章の後半: 財務分析の手法 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章の後半</p> <p>Week 12: Chapter 10, first half: Inventories 第12週：第10章の前半: 棚卸資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 10, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第10章の前半</p> <p>Week 13: Chapter 10, second half: Inventories 第13週：第10章の後半: 棚卸資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 10, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第10章の後半</p> <p>Week 14: Chapter 12, first half: Income Taxes 第14週：第12章の前半: 法人税 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第12章の前半</p> <p>Week 15: Chapter 12, second half: Income Taxes 第15週：第12章の後半: 法人税 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第12章の後半</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	財務会計・入門〔第14版〕 桜井 久勝 (著), 須田 一幸 (著) 出版社: 有斐閣; 第14版 (2021)
指定図書 / Course Readings	Kieso, D. & Weygandt, J. & Warfield, T (2019). Intermediate Accounting (17th ed.). Wiley.
参考文献 / Reference List	None in particular. 特になし
評価方法 / Method of Evaluation	Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30%

	Final Exam / 期末試験: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular. 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
留意点 / Additional Information	None in particular. 特になし		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	多国籍企業会計		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Accounting for Multinational Firms		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ◎(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>With the increasing number of firms expanding their overseas operations and the continuing unification of capital markets from countries around the world, there is a growing need for corporate information with better transparency and clearer criteria of comparison across countries. The goals of this course are to analyze how financial reporting standards employed by multinational firms are part of a process aiming for global corporate standards of a higher quality overall, as well as to understand financial risk and its underlying principles for portfolio management, derivative products, and option pricing.</p> <p>企業の海外事業展開や各国資本市場の統合によって、より比較可能で、透明性の高い情報が要求されるようになった。当講義の目標は多国籍企業に適用される財務報告基準が、高品質のグローバル基準に向けて調整過程であることを解説し、金融のリスクについて理解し、ポートフォリオ理論、金融派生商品、オプション価格決定についての基礎を理解することである。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we learn about the theory, reasoning, application and quantitative aspects of accounting problems and financial management issues faced by multinational firms. In particular, we analyze international accounting standards in relation with basic items crucial to multinational firms such as tangible fixed assets, inventory and financial products, as well as accounting for process in international management such as currency conversion. Finally, currency options and currency swaps are also covered.</p> <p>多国籍企業が直面し解決しなければならない会計問題や財務管理課題に関する理論・学説及び実務・計数的手法を身に付ける。特に、外貨換算会計、国際管理会計に伴い、多国籍企業にとって基本的な重要項目である有形固定資産・棚卸資産・金融商品に関する国際会計基準を分析する。また、通貨の選択権取引とスワップ取引も網羅される。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed). ・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと（3時間を要する）
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations. 課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1, Introduction          第1週：第1章 序論          Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1          予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2, first half, Determination of Exchange Rates          第2週：第2章、前半 為替相場の決定          Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half          予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半</p> <p>Week 3: Chapter 2, second half, Determination of Exchange Rates          第3週：第2章、後半 為替相場の決定          Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half          予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、後半</p> <p>Week 4: Chapter 4, first half, Currency Forecasting          第4週：第4章、前半 通貨の予測          Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half          予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半</p> <p>Week 5: Chapter 4, second half, Currency Forecasting          第5週：第4章、後半 通貨の予測</p>

	<p>Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半</p> <p>Week 6: Chapter 5, first half, Country Risk Analysis 第6週：第5章、前半 カントリー・リスク分析 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half, Country Risk Analysis 第7週：第5章、後半 カントリー・リスク分析 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 7, first half, The Foreign Exchange Market 第8週：第7章、前半 外国為替市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 7, second half, The Foreign Exchange Market 第9週：第7章、後半 外国為替市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 8, first half, Currency and Options Market 第10週：第8章、前半 通貨と選択権取引の市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第8章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 8, second half, Currency and Options Market 第11週：第8章、後半 通貨と選択権取引の市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第8章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 9, first half, Swap and Interest Rate Derivatives 第12週：第9章、前半 スワップ取引と金利デリバティブ Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第9章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 9, second half, Swap and Interest Rate Derivatives 第13週：第9章、後半 スワップ取引と金利デリバティブ Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第9章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 12, first half: International Financing and National Capital Markets 第14週：第12章、前半 国際金融と国内資本市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第12章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 12, second half: International Financing and National Capital Markets 第15週：第12章、後半 国際金融と国内資本市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第12章、後半</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	財務会計・入門〔第14版〕 桜井 久勝 (著), 須田 一幸 (著) 出版社：有斐閣; 第14版 (2021)		
指定図書 / Course Readings	Shapiro, Alan C. et al. (2019). Multinational Financial Management, (11th ed.). Wiley.		
参考文献 / Reference List	None in particular. 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular. 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。

2021/5/6	T-NEXT
留意点 / Additional Information	None in particular. 特になし

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	キャリア形成論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Career Development		
教員 / Instructor	竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)		
分野 / Division	General / 共通	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	304	連絡先 / E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	- To learn key skills for taking control of current and future career development. - To develop self-awareness and discover personal strengths through feedback from group work. - To get acquainted with the essential competencies of: hope, self-reflection, self-clarity, visioning, goal setting and planning, implementing and adapting. These are described in detail. ・キャリア形成に必要な鍵となるスキルを学び、社会の発展に貢献する力を育成する。 ・グループワークを通して自己認識や個人の強みを探り、高い志の育成を図る ・キャリア形成に必要な考え抜く力を身につける。
講義の概要 / Course Description	When you consider about your future career, it is based on a way of your thinking for working and living in your life. In order for you to build and improve your career, you have to understand yourself as a first step: What are you good at? What do you want to do? What do you think is worth doing? In this course, you will be asking yourself these questions, with the assistance of a personality test and other means, so as to know what you want to be in future. Further, you will work out what you need to do in order to become what you want to be, connecting your study at this university with your pursuit of a career. The course consists of fairly interactive lectures, workshops and group work. 自分にとってのキャリアを考える時、そのベースとなるのは、働くことや生きることについての考え方である。キャリアを積み、キャリアアップするためには、何が得意で、何をしたいのか、何をやる事に価値を見いだすのかなど、まず自分について良く知ることである。この授業では、性格テストや様々な方法を使って、将来自分がなりたい自分を探す。さらに、自分が望む自分になるためにすべき事やキャリア形成のためにSGSで学ぶべき事などを学習する。授業は、各自が授業課題準備をしてきた上で、講義、実習、グループワークを通じて行う。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Each class has a prep assignment to fill out a sheet to think about your career (takes 3 hours). 毎回の授業でキャリアを考えるためのシートを記入する予習課題がある（3時間を要する）
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Provide feedback on the career design sheet. キャリアデザインシートに対して、フィードバックを行う
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Course Orientation 第1週：コースオリエンテーション Student Pre-Class Preparation: Have read course description 予習・復習のポイント：授業概要をよく読んでくること  Week 2: Introduction 第2週：序論 Student Pre-Class Preparation: Summarize the previous class's essential points 予習・復習のポイント：前回の講義のポイントをまとめておく  Week 3: Adolescent and Identity 第3週：青年期とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet：Your special interests 予習・復習のポイント：ワークシート記入：いま、気になっていること  Week 4: Growth and Identity 第4週：成長とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheets：Who am I？ 予習・復習のポイント：ワークシート記入：私は誰？  Week 5: Past and Identity 第5週：過去とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet：What is your motivation？



<p>予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションは何？</p> <p>Week 6: Write Your Career Design Sheet (1) 第6週：キャリアデザインシート作成（1） Student Pre-Class Preparation: Summarize the main points of the classes so far. 予習・復習のポイント：これまでの講義のポイントをまとめておく</p> <p>Week 7: Modern Society and Income 第7週：現代社会と収入 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： How much can you earn 予習・復習のポイント：ワークシート記入：あなたはいくら稼ぐ？</p> <p>Week 8: Modern Society and Ability 第8週：現代社会と能力 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Competence analysis 予習・復習のポイント：ワークシート記入：コンピテンス分析</p> <p>Week 9: Modern Society and Work 第9週：現代社会と労働 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Thinking your work style 予習・復習のポイント：ワークシート記入：ワークスタイルを考えよう</p> <p>Week 10: Modern Society and Employment 第10週：現代社会と就職 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： What is your motivation？ 予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションは何？</p> <p>Week 11: Modern Society and Job 第11週：現代社会と職業 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Linking motivation and job 予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションと職業を結びつけよう</p> <p>Week 12: Modern Society and Entrepreneurship 第12週：現代社会と起業 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： A history of your No.1 company 予習・復習のポイント：ワークシート記入：あなたのナンバーワン企業の歴史</p> <p>Week 13: Modern Society and Money 第13週：現代社会とお金 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： How do you spend 100 million yen 予習・復習のポイント：ワークシート記入：1億円はどう使う？</p> <p>Week 14: Target Management and Self-actualization 第14週：目標管理と自己実現 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Set your goals for college. 予習・復習のポイント：ワークシート記入：大学での目標を立てよう</p> <p>Week 15: Write Your Career Design Sheet (2) 第15週：キャリアデザインシート作成（2） Student Pre-Class Preparation: Summarize the main points of the classes so far. 予習・復習のポイント：これまでの講義のポイントをまとめておく</p>			
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	None in particular 特になし		
指定図書 / Course Readings	To be announced in class. Weekly assignments will be given in the class. 週ごとの課題は授業中に提供される。		
参考文献 / Reference List	None in particular 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Class Performance / 授業内活動: 20% Reflection Paper / 授業のリフレクション: 40% Career Design Sheet / キャリアデザインシート: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	複数大学でのキャリア指導経験を活かし、実践的・効果的な授業を行う。

2021/5/6		T-NEXT
留意点 / Additional Information	None in particular 特になし	

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	国際教養特別講義Ⅱ（国際政治）		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for International Studies II		
教員 / Instructor	新美 潤 (Niimi, Jun)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	学科長室	連絡先 / E-mail	niimi@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】		
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習		
到達目標 / Course Goals	The goals are, firstly, to obtain basic understanding of the current important issues on international politics and diplomacy. Secondly, to nurture ability to analyze daily international issues by oneself. 国際政治上の主要問題の概要、並びに背後の外交について基礎的理解を有し、日々の国際社会の動きについて、自ら考察・判断する能力を養うことを目指す。		
講義の概要 / Course Description	In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the understanding of the current important issues such as the nuclear development of Iran and North Korea. In second part, a discussion or debate will be held under some theme related to the class. 授業の前半は、イラン・北朝鮮の核開発問題等、国際政治上の主要問題について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、全員で討論する。討論の形式は、受講生の数等に応じ決定。		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Pre-class preparation: A summary will be distributed for each class in advance. Please read it through and check on key issues with internet and so on (3 hours) 講義概要を事前に配布するので、これに目を通し、重要事項についてウィキペディア、外務省ホームページ等で事前に調べておく（予習。3時間）		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	小論文に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。 Feedback will be carried out by returning the submitted short essays with comments.		
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course syllabus 予習・復習のポイント：シラバスに目を通しておくこと。  Week 2: 第2週：イランを巡る問題と中東情勢（その1）Iran and Middle East(Part1) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと  Week 3: 第3週：イランを巡る問題と中東情勢（その2）Iran and Middle East (Part2) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと  Week 4: 第4週：イランを巡る問題と中東情勢（その3）Iran and Middle East (Part3) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと  Week 5: 第5週：イランを巡る問題と中東情勢（その4）Iran and Middle East (Part4) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと  Week 6: 第6週：米国の政治・外交（その1）Politics and Diplomacy of U.S.A (Part1) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary		

	<p>予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 7: 第7週：米国の政治・外交（その2）Politics and Diplomacy of U.S.A (Part 2) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 8: 第8週： 中間試験 Mid-term examination</p> <p>Week 9: 第9週：米国の政治・外交（その3）Politics and Diplomacy of U.S.A (Part3) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 10: 第10週：東アジアの情勢と日本の安全保障政策（その1）Situation in East Asia and Security Policy of Japan (Part1) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 11: 第11週：東アジアの情勢と日本の安全保障政策（その2）Situation in East Asia and Security Policy of Japan (Part2) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 12: 第12週：欧州の情勢（その1）Situation in Europe (Part1) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 13: 第13週：欧州の情勢（その2）Situation in Europe (Part2) Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 14: 第14週：ロシア情勢と日露関係 Russia and Japan Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: 第15週：アフリカの情勢 Situation in Africa Student Pre-Class Preparation::Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	None. Instead a summary will be distributed for each class. It is desirable that students bring world atlas for class. なし。代わりに講義概要を配布する。また、世界地図帳を常時授業に持参することが望ましい。		
指定図書 / Course Readings	World Atlas( No designation for publisher) International Law Documents ( Yuhikaku) 世界地図帳（高校の地理の授業で使用したもので可。出版社は問わず） 国際条約集（有斐閣）		
参考文献 / Reference List	None なし		
評価方法 / Method of Evaluation	Class participation / 平常点: 30% Mid-term examination or report/ 中間考査: 30%（考査の形式を筆記試験、レポート等どのような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定） Final examination or report/ 学期末考査: 40%（同上）		
事前履修科目等 / Prerequisite	None なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国（在ロサンゼルス総領事）、ポルトガル（特命全権大使）の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。

			豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かして、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
留意点 / Additional Information	The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak. 授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	国際法と国際機関		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	International Law and Organizations		
教員 / Instructor	新美 潤 (Niimi, Jun)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	学科長室	連絡先 / E-mail	niimi@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	国際法の基礎について学び、今日の様々な分野における国際条約が日本の政策、国益、国民の生活にどのように関わっているか、理解・判断する能力を養う。 The goals are, firstly to obtain basic understanding of international law. Secondly, to nurture ability to understand how international treaties affect the policies, national interest and the people's daily life of Japan.
講義の概要 / Course Description	授業の前半は、国際法の基礎事項、並びに、安全保障、経済等様々な分野における重要な条約について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、グループ討論、もしくは小論文作成を行う。 In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the basic understanding of international law and important treaties in various areas such as security and economy. In the second part, students will engage in active learning such as group discussion and writing short essays under some theme related to the class.
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	教科書を事前に予習し、必要に応じ、インターネット等で重要事項を調べておく（予習。3時間） Please read the textbook in advance and check on key issues with internet and so on (3 hours)
フィードバックの要領 / Detail of feedback	小論文に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。 Feedback will be carried out by returning the submitted short essays with comments.
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course syllabus 予習・復習のポイント：シラバスに目を通しておくこと</p> <p>Week 2: 第2週：国際法の主体、国家の主権 Subject of international law. Sovereignty of state. Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 3: 第3週：国際法の存在形式、国内的实施、国際的実施 Types of international law. Execution of international law. Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 4: 第4週：領域 Territory of state Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 5: 第5週：海洋・南極・空・宇宙（その1） Ocean, Antarctic ,Sky ,Space (Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 6: 第6週：海洋・南極・空・宇宙（その2） Ocean, Antarctic, Sky, Space(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook</p>

	<p>予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 7: 第7週：人権 Human rights Student Pre-Class Preparation :Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 8: 第8週：中間試験 Mid-term examination</p> <p>Week 9: 第9週：刑事 Criminal matters Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 10: 第10週：環境 Environment Student Pre-Class Preparation :Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 11: 第11週：経済（その1）Economy(Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 12: 第12週：経済（その2）Economy(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 13: 第13週：国際連合 United Nations Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 14: 第14週：安全保障（その1）Security(Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: 第15週：安全保障（その2）Security(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	玉田大・水島朋則・山田卓平『国際法』有斐閣ストゥディア Yuuhikaku Sutudhia “Kokusaihou”(Yuuhikaku)		
指定図書 / Course Readings	岩沢雄司・植木俊哉・中谷和弘『国際条約集 2020年版』（有斐閣） International Law Documents (Yuuhikaku)		
参考文献 / Reference List	世界地図帳（中学・高校の地理の授業で使用したもので可。出版社は問わず） World Atlas(No designation for publisher)		
評価方法 / Method of Evaluation	Class participation/平常点：30% Mid-term examination or report/中間考査：30%（考査の形式を筆記試験、レポート等どのような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定） Final examination or report/学期末考査：40%（同上）		
事前履修科目等 / Prerequisite	None なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国（在ロサンゼルス総領事）、ポルトガル（特命全権大使）の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かして、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak.			

2021/5/6		T-NEXT	
留意点 / Additional Information		授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。	



講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	環境保全入門		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Environmental Protection		
教員 / Instructor	橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)		
分野 / Division	Core / 選択必修	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office	204	連絡先 / E-mail	hashizume@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 Knowledge and understanding ◎(2) 思考と判断【考え抜く力】 Critical thinking and judgement ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 Interest and passion ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 Expression and techniques ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】 Aspiration
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート Discussion, debate <input type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） Grope work (pair work) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション Presentation <input type="checkbox"/> フィールドワーク Field work <input type="checkbox"/> 実習 Practical work
到達目標 / Course Goals	1. 我が国と国際社会の基本的課題である環境問題の現状・科学的原因・社会的構造、環境保全の基本的考え方について、持続可能な成長の理念の下で理解すること。 2. 自らのライフスタイルや社会構造等を批判的に見る能力、対策を考える基礎的能力を身に付けること。 ・日本及び世界の環境汚染の原因・構造、現状と課題。 ・環境保全、持続可能な成長の基本的考え方。 ・政策の基本的枠組み（条約、法律、条令、自主取組等）。 ・制度的対策、技術的対策の現状。 3. 関連資格 ・ECO検定（環境社会検定試験）東京商工会議所 1. To understand situation, causes and structure of current environmental problems and basic ideas of environmental protection under the idea of sustainable development. 2. To develop ability to critically review our own professional and personal life style as well as to formulate environmental policies. - Situation, scientific causes and social structure of current environmental problems, and countermeasures on them in Japan and in the world. - Basic approach to environmental protection and sustainable development - Framework of environmental policy (conventions, national laws, local regulations, voluntary initiatives, etc.) - Current institutional and technical measures of environmental protection 3. Related certificate - Eco Kentei (certification test for environmental specialists), provided by Tokyo Chamber of Commerce
講義の概要 / Course Description	本コースは、水資源、水質、大気質、自然環境、地球温暖化、廃棄物・リサイクル、化学物質、放射線を含め、現代社会の最重要課題の一つである環境問題を概説する。日本及び世界の環境の現状を紹介するとともに、環境保全の政策や各主体による取組み等について、わかり易い事例として日本におけるものを中心に論じる。 配布資料・参考図書・スライド等を用いた講義を中心に実施し、クラス内で適宜議論を行う。 なお、本コースは、以降の学期で行われる環境関連の他の3コースに繋がる入門編でもある。 This course outlines one of the most important issues in the contemporary society, “environment” including water resources, water quality, air quality, natural environment, climate change, waste management and recycling, chemical substances, and radiation. It introduces present pollution situations both in Japan and in the world. It also discusses governmental policies and various stake holders' activities for environmental protection, particularly in Japan, which will be easier for students in Japan to understand. This is mostly a lecture course using handouts, reference materials, slides, etc. with occasional discussions in the class. This course is an introduction to three other courses related to environmental management in the following semesters.
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	①事前配布（又はT-nextに掲載する配布予定）のhandout等を事前に読んでおくこと（0.5時間を要する）。 ②講義後の振り返りシート reaction paperの作成と内容の復習（1時間を要する） (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 0.5 hr) (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 1 hr)
フィードバックの要領 / Detail of feedback	各週のリアクションペーパーの提出と添削、並びに次週における解説 Reaction paper sheets submitted are returned with comments in the next class together with re-explanation of the main issues of the previous class.
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	第1週：オリエンテーション、イントロダクション 予習・復習のポイント：コース紹介を読んでおくこと Week 1: Orientation, introduction Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 第2週：環境保全の基本的考え方(1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料

	<p>Week 2: Basic ideas of environmental protection (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第3週：環境保全の基本的考え方(2)、放射線 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 3: Basic ideas of environmental protection (2), radiation Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第4週：自然環境、生物多様性 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 4: Natural environment and biological diversity Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第5週：水資源 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 5: Water resources Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第6週：水質保全(1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 6: Water quality (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第7週：水質保全(2) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 7: Water quality (2) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第8週：廃棄物処理(1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 8: Waste management (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第9週：廃棄物処理 (2)、リサイクル (1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 9: Waste management (2), recycling (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第10週：リサイクル (2)、化学物質 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 10: Recycling (2), chemical substances Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第11週：大気保全 (1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 11: Air quality (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第12週：大気保全(2) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 12: Air quality (2) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第13週：気候変動の科学 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 13: Science of climate change Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>Week 14: Policy on climate change (1) 第14週：気候変動対策の政策(1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料</p> <p>第15週：気候変動対策の政策(2) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 15: Policy on climate change (2) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>・各週の内容、順番が入れ替わること等がある。 - Contents and order of the classes subject to change.</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	なし（ハンドアウトを毎回用意する）

	Nothing (handouts are provided for each class)		
指定図書 / Course Readings	- 環境省『環境白書：循環型社会白書／生物多様性白書（令和2年版）』 日経印刷 Retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html</a> - Ministry of the Environment, Japan (2020). Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society, and the Biodiversity in Japan, Retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/en/wpaper/">http://www.env.go.jp/en/wpaper/</a> - United Nations Environment Program. (2020). “Global Environment Outlook 6 (GEO 6)”		
参考文献 / Reference List	- 東京商工会議所編著『ECO検定公式テキスト第7版』2019年1月 日本能率協会マネジメントセンター		
評価方法 / Method of Evaluation	・学期末試験: 60% Semester-end exam ・復習のための小テスト（毎週）: 20% Quiz ・Discussion & debate : 20%		
事前履修科目等 / Prerequisite	なし None		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力に従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。
留意点 / Additional Information	・春学期の授業及び秋学期の授業Cは主に日本語で行う。秋学期の授業Dは全受講生が日本語での授業を希望しない限り、主に英語で行う。なお、いずれの学期においても英語での授業を希望する者は、担当教員に相談すること。英語での特別クラスの用意がある。履修言語を選択できるので、語学力要件を付さない。 ・春学期においては基本的に対面授業とし、一部Zoomを用いた遠隔授業として実施する。（秋学期については未定） ・受講人数に特段の制限を設けない。 - The two classes in spring semester (A and B) and a class in fall semester (C) are conducted mostly in Japanese. Another class in fall semester (D) will be mostly in English unless all students prefer class in Japanese. A student who wants a class in English in either semester, consult the instructor. A special class in English may be arranged. - No language proficiency requirement. - The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. Not decided as to the fall class.		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	エネルギーと環境		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Energy and Environment		
教員 / Instructor	橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	204	連絡先 / E-mail	hashizume@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 Knowledge and understanding ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 Critical thinking and judgement ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 Interest and passion ○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 Expression and techniques ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】 Aspiration
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート Discussion, debate <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） Grope work (pair work) <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション Presentation <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク Field work：施設見学 Studey visit（新型コロナウイルス感染症の状況等に従う Depending on COVID-19 situation, etc.） <input type="checkbox"/> 実習 Practical work
到達目標 / Course Goals	今後の社会・経済における最大の課題の一つは、気候変動問題であり、それはエネルギー問題でもある。以下により課題を把握し、対策を検討する科学的アプローチを身に付ける。特に低炭素社会を、地球／国／地方／コミュニティ規模で実現するための対策の企画者／推進者／実践者として自覚的に考える能力を身に付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染、特に地球温暖化の現状と課題。</li> <li>・エネルギーの供給、使用の現状と将来見通し及び課題。</li> <li>・環境保全のための科学的検討手法の基礎。</li> <li>・今後一層の発展が期待されるグリーン／クリーン技術。</li> <li>・目指されるべき社会等（持続可能な社会、低炭素社会）</li> </ul> One of the most important problems in the coming decades is climate change which is energy problem as well. This course is to understand the following issues and scientific approach to identify environmental problems and to plan countermeasures as well as to develop ability to spontaneously formulate, implement and practice policies to establish a low carbon society at global, national, local and community level. <ul style="list-style-type: none"> <li>- Present situation and issues of environmental management, climate change in particular.</li> <li>- Present situation, future prospect and remaining issues of supply and use of energy.</li> <li>- Basic knowledge of scientific research tools for environmental management.</li> <li>- Emerging green and clean technologies</li> <li>- A society to be realized (sustainable society, low-carbon society)</li> </ul>
講義の概要 / Course Description	持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。 配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変りつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。 We are facing serious problems for mankind, depletion of resources and energy, deterioration of global environment due to explosion of population and economic activities, and regional disputes due to widening economic discrepancy. Creation of a sustainable society has become the key when we think about the 21st century. Now, it is widely recognized that mitigation of and adaptation to climate change, and international cooperation for that purpose are one of the biggest challenges ahead. While the Paris Agreement was put into effect, there is a long way to go to create a low carbon society including saving energy and developing new energy. This course deals with current environmental pollution issues, climate change in particular from science and technological view points, among major challenges in the 21st century. It is scientific and technological development of "Introduction to Environmental Protection". It uses reference books, papers, handouts, slides, etc. with frequent discussion in the class. In the latter half of the semester, students are required to give presentations on the assigned literature. In order to touch actual practice, the course includes invitation of guest speakers and study visits to places of interest. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese.
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	①事前配布（又はT-nextに掲載する配布予定）のhandout等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）。 ②講義後の振り返りシート reaction paperの作成と内容の復習（2時間を要する） (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 1 hr) (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 2 hr)
フィードバックの要領 / Detail of feedback	各週のリアクションペーパーの提出と添削、並びに次週における解説 Submitted reaction paper sheets are returned with comments in the next class together with re-explanation of the main issues of the previous class.
	第1週：イントロダクション、「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」

週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>予習・復習のポイント：コース紹介を読んでおくこと。  Week 1: Introduction, “Japan’s Long-term Strategy under the Paris Agreement”  Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions.</p> <p>第2週：エネルギー政策入門  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料  Week 2: Introduction to energy policy  Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第3週：「成長の限界①」  予習・復習のポイント：事前に配布する「成長の限界 (2004)」の予習  Week 3: “Limits to the Growth (1)”  Student Pre-Class Preparation: Excerpts of “Limits to Growth (2004)” provided in advance</p> <p>第4週：「成長の限界②」  予習・復習のポイント：事前に配布する「成長の限界(2004)」  Week 4: “Limits to the Growth (2)”  Student Pre-Class Preparation: Excerpts of “Limits to Growth (2004)”</p> <p>第5週：「成長の限界③」  予習・復習のポイント：事前に配布する「成長の限界(2004)」(抄)の予習  Week 5: “Limits to the Growth (3)”  Student Pre-Class Preparation: Excerpts of “Limits to Growth (2004)” provided in advance</p> <p>第6週：気候変動の影響とその対応  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料  Week 6: Impact of and adaptation to climate change  Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第7週：気候変動に対する国際的政策  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料  Week 7: International policy on climate change  Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第8週：日本の気候変動政策  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習  Week 8: Japan's policy on climate change  Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance.</p> <p>第9週：施設見学  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する参考資料の予習  Week 9: Study tour  Student Pre-Class Readings electronically provided in advance.</p> <p>第10週：気候変動対策戦略①  予習・復習のポイント：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の発表準備  Week 10: Strategy on climate change (1)  Student Pre-Class Preparation: Long-term Strategy under the Paris Agreement”</p> <p>第11週：気候変動対策戦略②  予習・復習のポイント：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の発表準備  Week 11: Strategy on climate change (2)  Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation of “Japan’s Long-term Strategy under the Paris Agreement”</p> <p>第12週：気候変動対策戦略③  予習・復習のポイント：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の発表準備  Week 12: Strategy on climate change (3)  Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation of “Japan’s Long-term Strategy under the Paris Agreement”</p> <p>第13週：気候変動政策に関する国際交渉（ゲスト講師）  予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習  Week 13: International negotiation on climate change Strategy (guest lecturer)  Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第14週：気候変動対策戦略④  Week 14: Strategy on climate change (4)  Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation of “Japan’s Long-term Strategy under the Paris Agreement”  予習・復習のポイント：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の発表準備</p> <p>第15週：気候変動対策戦略⑤、まとめ  予習・復習のポイント：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の発表準備  Week 15: Strategy on climate change (5)  Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation of “Japan’s Long-term Strategy under the Paris Agreement”, wrap up</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly	

Schedule 2 ※上段、文字数 超過分を記載	
教科書 / Textbook	なし（ハンドアウトを毎回用意する） Nothing (handouts are provided for each class)
指定図書 / Course Readings	<p>- 閣議決定『パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略』令和元年6月11日 Cabinet decision, Japan's Long-term Strategy under the Paris Agreement, June 11, 2019 (The outline is available in English)</p> <p>- 経済産業省『2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略』令和2年12月25日 Ministry of Economy, Trade and Industry, Japan's Green Growth Strategy for 2050 Carbon Neutrality, Dec. 25, 2020, (The outline is available in English)</p> <p>- 環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、気象庁『気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動の影響とその影響』平成30年2月 Ministry of the Environment, Ministry of Education, Culture, Science and Technology, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Japan Meteorological Agency, Synthesis Report on Observations, Projections and Impact Assessment of Climate Change, 2018, Feb. 2018,</p> <p>- 気候変動に関する政府間パネル『気候変動2014 IPCC第5次評価報告書 政策決定者向け要約』2015 Intergovernmental Panel on Climate Change, Climate Change 2014, Synthesis Report, Summary for Policy Makers, 2015</p> <p>- Meadows, Donella H. &amp; Randers, Jorgen &amp; Meadows, Dennis L. (2004). Limits to Growth: The 30 year update. (3rd.ed.). Chelsea Green.</p> <p>- デニス・メドウズ他『成長の限界：人類の選択』ダイヤモンド社、2004年</p>
参考文献 / Reference List	<p>- Meadows, Donella H. &amp; Meadows, Dennis L. et al. (1972). The Limits to Growth. Mcmillan.</p> <p>- デニス・メドウズ他『成長の限界』ダイヤモンド社、1972年</p> <p>- IEA (2020). World Energy Outlook 2020 (Executive summary retrievable from <a href="https://iea.blob.core.windows.net/assets/80d64d90-dc17-4a52-b41f-b14c9be1b995/WEO2020_ES.PDF">https://iea.blob.core.windows.net/assets/80d64d90-dc17-4a52-b41f-b14c9be1b995/WEO2020_ES.PDF</a> )</p> <p>- 経済産業省『エネルギー白書2020年版』2020年6月5日 <a href="http://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/">http://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/</a> Agency for Natural Resources and Energy, Energy White Paper 2020 (Summary), June 2020</p> <p>- 環境省『環境白書：循環型社会白書／生物多様性白書（令和2年版）』日経印刷 (To be retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html</a> )</p> <p>Ministry of the Environment, Japan (2020). Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society, and the Biodiversity in Japan, 2020 (To be retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/en/wpaper/">http://www.env.go.jp/en/wpaper/</a> )</p> <p>- Brown, Lester R, etc. (2015), The Great Transition: Shifting from Fossil Fuels to Solar and Wind Energy, W.W.Norton.</p> <p>- レスター R ブラウン他『大転換：新しいエネルギー経済のかたち』岩波書店、2015年</p> <p>- レスター R ブラウン他『データでわかる世界と日本のエネルギー大転換』岩波ブックレット、2016年</p>
評価方法 / Method of Evaluation	<p>小テスト/Quizzes: 20 %</p> <p>討議/Discussion/debate: 20 %</p> <p>発表/Presentation: 25%</p> <p>学期末試験（多人数の場合）又はレポート提出/Semester-end exam (if large class) or report/essay assignment : 35%</p>
事前履修科目等 / Prerequisite	なし。ただし「環境保全入門」の単位を取得していることが望ましい。 None. However, it is desirable to have the credit of "Introduction to Environmental Protection" to take this course.
実務経験 / Work Experiences	
留意点 / Additional Information	<p>・履修学生の構成が日本語を母国語とする者のみでない限り、基本的には英語で行う(英語8：日本語2程度)が、議論は、学生の便宜のため英語又は日本語で行う。外部講師による講義と施設見学は日本語で行われることがある。発表は、英語での視覚資料の利用等、英語で理解できるものでなければならない。 (春学期実施の科目については基本的に対面授業とするが、一部にZoomを用いた遠隔授業も併用する。) 秋学期実施の科目については未定。</p> <p>The course will be conducted primarily in English (ENG 8 : JPN 2) unless all students prefer class in Japanese. However, discussion in the class may be either in English or in Japanese for easier communication among students. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese. Presentation must be understandable for English speakers, maybe with visual aids in English.</p> <p>(Classes in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. ) Not decided as to the fall class.</p>

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	資源と環境		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Resource and Environment		
教員 / Instructor	橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	204	連絡先 / E-mail	hashizume@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 Knowledge and understanding ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 Critical thinking and judgement ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 Interest and passion ○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 Expression and techniques ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】 Aspiration		
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	☑ディスカッション、ディベート Discussion, debate ☑ グループワーク（ペアワーク） Grope work (pair work) ☑ プレゼンテーション Presentation ☑フィールドワーク Field work：施設見学Studey visit（新型コロナ感染症の状況等に従う Depending on COVID-19 situation, etc.） □実習 Practical work		
到達目標 / Course Goals	以下を理解し、持続可能な社会の建設の中でも典型的なグローバル課題である持続可能な資源利用／循環型社会実現に向けた対策の企画者／推進者／実践者として自覚的に考える能力を身につける。 ・日本と世界の資源の生産／供給／利用の現状、将来見通しと課題。 ・循環型社会形成、廃棄物の適正処理／リサイクルの基本的考え方。 ・各種リサイクル制度とその課題。 ・関係者の役割分担。 ・循環資源／廃棄物の越境移動。 To understand the following issues and to develop ability to spontaneously formulate, implement and practice policies to promote sustainable resource use and to establish a sound material-cycle society, which is a typical glocal issue. - Present situation and issues of production, supply and use of resources and its future in Japan and in the world. - Basic approach to establish a sound material-cycle society, sound waste management and recycling. - Systems of various waste recycling. - Roles of stakeholders - Transboundary movement of recyclables and waste		
講義の概要 / Course Description	持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。 配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変りつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。 持続可能な社会の構築が最大の政策課題となっている今日、世界の資源状況を注視するとともに、廃棄物の再利用・リサイクルを含めた持続可能な資源の利用、すなわち循環型社会を形成することは、特に大量の天然資源や食糧を輸入に頼る我が国にとって決定的に重要である。本コースは、今日の資源問題を概説するとともに、解決策として資源の有効利用・循環利用に関し、世界の潮流及び我が国の制度、技術の現状及び方向性を論じるものであり、「環境保全入門」の資源・廃棄物・リサイクル特論という性格を持つ。 配布資料・スライド等を用いた講義、対策の実践を体験するための自治体や関係業界からの外部講師の招聘、関連する施設見学等（日本語で行う場合がある）の他、特に、近年、大きく変りつつあるリサイクル諸制度については、学生による発表により、関係者の役割分担等、新たな社会経済的意味を理解し、持続可能な社会への道筋を考える。 Creation of a sustainable society has become the key of today. It is vitally important particularly for Japan which heavily depends on import of natural resources, foods, etc. to closely watch situations of resources in the world, to sustainably use resources including reuse and recycling of waste and to establish a sound material-cycle society. This course outlines issues of global demand and supply of resources, followed by the introduction of world trend and institutional and technical situations in Japan and future directions of efficient and cyclical use of resources. This is an advanced course of Introduction to Environmental Protection, specializing in resources, waste management and recycling. This course uses various materials and PPT presentations, having study visits to environmental organizations and facilities and guest lecturers from local governments and industry in order to experience actual practices. (Study visits and lectures by guest speakers may be conducted in Japanese.) Also, students are requested to make presentation on rapidly changing recycling schemes to understand their socioeconomic implication including stakeholders' new roles to establish a sustainable society.		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	①事前配布（又はT-nextに掲載する配布予定）のhandout等を事前に読んでおくこと（1時間を要する）。 ②講義後の振り返りシートreaction paperの作成と内容の復習（2時間を要する） (1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 1 hr) (2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 2 hr)		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	各週のリアクションペーパーの提出と添削、並びに次週における解説 Reaction paper sheets submitted are returned with comments in the next class together with re-explanation of the main issues of the previous class.		

<p>週ごとの授業計画 / Weekly Schedule</p>	<p>第1週：イントロダクション 予習・復習のポイント：コース紹介を読んでおくこと Week 1: Introduction Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions</p> <p>第2週：資源・エネルギーの現状 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 2: Status quo of resources and energy Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第3週：廃棄物処理・リサイクルの基本原則 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 3: Principles of waste management and recycling Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第4週：施設見学(1-藤沢市、焼却・リサイクル) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 4: Study tour (1-Fujisawa city, incineration, recycling) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第5週：廃棄物処理・リサイクルの諸問題 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 5: Issues of waste management and recycling Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第6週：廃棄物処理・リサイクル事業 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 6: Waste management and recycling business Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第7週：施設見学(2-藤沢市、最終処分場、食品廃棄物リサイクル) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 7: Study tour (2-Fujisawa city, landfill, food waste recycling) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第8週：ライフサイクルアセスメント 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 8: Life cycle assessment Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第9週：国際資源循環 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 9: International resource cycle Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第10週：施設見学(3-家電リサイクル)家電製品のリサイクル 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 10: Study tour (3-Recycling of home electric appliances) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第11週：レアメタルと都市鉱山 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 11: Rare metals and urban mine Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第12週：自治体における廃棄物処理・リサイクル 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習 Week 12: Packaging waste recycling Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第13週：容器包装リサイクル 予習・復習のポイント：容器包装廃棄物のリサイクルに関する発表の準備 Week 13: Waste management and recycling in local government Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation on packaging waste recycling</p> <p>第14週：家電・自動車のリサイクル 予習・復習のポイント：家電・自動車のリサイクルに関する発表の準備 Week 14: Recycling of home-electric appliances, end-of-life vehicles Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation on end-of-life vehicles recycling</p> <p>第15週：まとめ 予習・復習のポイント：廃棄物・リサイクルに関する発表の準備 Week 15: Wrap-up Student Pre-Class Preparation: Preparation for presentation on waste management and recycling</p>
-----------------------------------	--



	・各週の内容、順番が入れ替わる事等がある。 - Contents and order of the classes subject to change.		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	なし（ハンドアウトを毎回用意する） Nothing (handouts are provided for each class)		
指定図書 / Course Readings	- 環境省『環境白書：循環型社会白書／生物多様性白書（令和2年版）』 日経印刷 (Retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html</a> ) - Ministry of the Environment, Japan (2020). Annual Report on the Environment 2020 (Retrieved from <a href="http://www.env.go.jp/en/wpaper/">http://www.env.go.jp/en/wpaper/</a> )		
参考文献 / Reference List	なし None		
評価方法 / Method of Evaluation	Quizzes/小テスト: 20 % Discussion/debate/討議: 20 % Presentation/発表: 25% Semester-end exam (if large class) or report/essay assignment / 学期末試験（多人数の場合）又はレポート提出: 35%		
事前履修科目等 / Prerequisite	なし。ただし「環境保全入門」の単位を取得していることが望ましい。 None. However, it is desirable to have the credit of "Introduction to Environmental Protection" to take this course.		
実務経験 / Work Experiences		授業への実務経験の活用 / Practical Contents	
留意点 / Additional Information	・履修学生の構成が日本語を母国語とする者のみでない限り、基本的には英語で行う(英語8：日本語2程度)が、議論は、学生の便宜のため英語又は日本語で行う。外部講師による講義と施設見学は日本語で行われることがある。発表は、英語での視覚資料の利用等、英語で理解できるものでなければならない。 ・春学期実施の科目については基本的に対面授業とするが、一部にZoomを用いた遠隔授業も併用する。（秋学期実施の科目については未定。）  The course will be conducted primarily in English (ENG 8 : JPN 2) unless all students prefer class in Japanese. However, discussion in the class may be either in English or in Japanese for easier communication among students. Guest presentations and study visits may be conducted in Japanese. Presentation must be understandable for English speakers, maybe with visual aids in English. The class in spring semester will be conducted on-campus (if needed) with on-line remoted using Zoom system. (Not decided as to the fall class.)		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	経営学入門		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Management		
教員 / Instructor	芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)		
分野 / Division	General / 共通	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ashida@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	To know the range of topics treated in management. To know the fundamental ideas and theories in management. To understand strategy and organization in management. To know how management can help you to understand familiar problems. ・経営学が扱う問題の範囲を知ること。 ・経営学の基本的な考え方や理論を知ること。 ・経営における「戦略」と「組織」を理解すること。 ・経営学によってどのように身近な問題を分析することができるかを知ること。
講義の概要 / Course Description	In this course, students learn basics of management. We aim to acquire knowledge about basic concepts to be able to abstract innumerable, variable, complex, and individual phenomena about enterprises and other organizations. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports. このコースでは、経営学の基礎を学ぶ。現代の企業やそれ以外の組織にまつわる無数、多様、複雑、個別具体的な現象を、抽象化して理解できるようになるために、経営学の基本的な概念についての知識修得を目指す。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介する。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行う。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week. 授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Members can submit reaction papers at each class, and teacher replies by the next class. And teacher comments on member's reports comprehensively at the last class, and if members need detailed comments, teacher gives advices about reports individually. 各授業ではリアクションペーパーによって質問を受け付け、次回の授業で可能な限り回答する。授業期間内レポートに対しては、最後の授業までに全体講評を行うが、希望者には個別講評も行う。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読むこと。  Week 2: About Strategy 第2週： 戦略とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 1 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第1章を読んでいること。  Week 3: About Differentiation 第3週： 差別化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 2 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第2章を読んでいること。  Week 4: About Business System 第4週： ビジネスシステムとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 3 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第3章を読んでいること。  Week 5: About Diversification 第5週： 多角化とは

	<p>Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 4 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第4章を読んでいること。</p> <p>Week 6: About Restructuring 第6週：リストラクチャリングとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 5 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第5章を読んでいること。</p> <p>Week 7: About Internationalization 第7週：国際化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 6 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第6章を読んでいること。</p> <p>Week 8: About Capital Structure 第8週：資本構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 7 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第7章を読んでいること。</p> <p>Week 9: About Employment Structure 第9週：雇用構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 8 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第8章を読んでいること。</p> <p>Week 10: About Organization and Individual 第10週：組織と個人について Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 9 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第9章を読んでいること。</p> <p>Week 11: About Structure of Organization 第11週：組織構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 10 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第10章を読んでいること。</p> <p>Week 12: About Incentive System 第12週：インセンティブシステムとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 11 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第11章を読んでいること。</p> <p>Week 13: About Planning and Control of Organization, and about “Glocal” business in Kanagawa 第13週：組織の計画とコントロールとは、及び神奈川県 グローカル企業について Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 12 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第12章を読んでいること。</p> <p>Week 14: About Management Philosophy and Organizational Culture 第14週：経営理念・組織文化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第13章を読んでいること。</p> <p>Week 15: About Leadership 第15週：リーダーシップとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 14 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第14章を読んでいること。</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門（第3版）』日本経済新聞社、2003年		
指定図書 / Course Readings	Assigned during the classes. 講義中に指定する。		
参考文献 / Reference List	Assigned during the classes. 講義中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Learning Attitude / 学修態度: 5% Report / レポート: 20% Final-examination / 学期末試験: 75%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方

2021/5/6		T-NEXT	
			の立場からのより良き協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
留意点 / Additional Information	None 特になし		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	マーケティング論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Theory of Marketing		
教員 / Instructor	芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ashida@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】		
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習		
到達目標 / Course Goals	To understand some basic concepts on marketing. To understand basic way of thinking for marketing. To understand the system and structure of Principle of marketing. ・マーケティングの基礎的な概念を理解すること。 ・マーケティングの基本的な考え方を理解すること。 ・マーケティング論の体系と構造を理解すること。		
講義の概要 / Course Description	In this course, we study method of thinking about market on marketing and theories of consumer behavior, enterprises' new product development, and strategic marketing. And, supposing customers in ongoing and specific relationship, we study marketing theories about structuring of bases of interaction. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports. 本講義ではまず、マーケティングにおける市場の捉え方、消費者行動や企業の新製品開発活動、戦略的マーケティングに関する理論について講義する。さらに、継続的な関係にある顧客を想定したうえで、販売側と顧客との相互作用の基盤づくりに関するマーケティング理論を学ぶ。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介していく。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行なう。		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week. 授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Members can submit reaction papers at each class, and teacher replies by the next class. And teacher comments on member's reports comprehensively at the last class, and if members need detailed comments, teacher gives advices about reports individually. 各授業ではリアクションペーパーによって質問を受け付け、次回の授業で可能な限り回答する。授業期間内レポートに対しては、最後の授業までに全体講評を行うが、希望者には個別講評も行う。		
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Perspective of Principle of marketing. 第1週：マーケティング論の全体像 Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions. 予習・復習のポイント：「シラバス」を読むこと。  Week 2: The logic of marketing. 第2週：マーケティングの考え方 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 1 of textbook, paying attention to the relationship between marketing and market. 予習・復習のポイント：「マーケティングにおける市場の捉え方」に着目しつつ、教科書第1章を読むこと。  Week 3: Product differentiation. 第3週：製品差別化 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 2 of textbook, paying attention to variety of product differentiation. 予習・復習のポイント：様々な「製品差別化の仕方」に着目しつつ、教科書第2章を読むこと。  Week 4: Market segmentation. 第4週：市場細分化 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 3 of textbook, paying attention to methods and standards of market segmentation. 予習・復習のポイント：「市場細分化の方法と基準」に着目しつつ、教科書第3章を読むこと。		

	<p>Week 5: Product life cycle. 第5週：製品ライフサイクル Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 4 of textbook, paying attention to definition of product life cycle. 予習・復習のポイント：「製品ライフサイクルの定義と各段階の特徴」に着目しつつ、教科書第4章を読むこと。</p> <p>Week 6: Consumer behavior. 第6週：消費者行動 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 5 of textbook, paying attention to characteristic of Principle of consumer behavior and consumers' decision-making process of purchase. 予習・復習のポイント：「消費者行動論の特徴」と「消費者の購買意思決定プロセス」に着目しつつ、教科書第5章を読むこと。</p> <p>Week7: New product development. 第7週：新製品開発 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 6 of textbook, paying attention to decision-making process on new product development. 予習・復習のポイント：「新製品開発での意思決定プロセス」に着目しつつ、教科書第6章を読むこと。</p> <p>Week 8: Marketing mix. 第8週：マーケティング・ミックス Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 7 of textbook, paying attention to 4P. 予習・復習のポイント：「マーケティングの4P」に着目しつつ、教科書第7章を読むこと。</p> <p>Week 9: Principle of strategic marketing. 第9週：戦略的マーケティング論 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 8 of textbook, paying attention to product portfolio, basic strategy of marketing, and so on. 予習・復習のポイント：「製品ポートフォリオ」「マーケティングの基本戦略」に着目しつつ、教科書第8章を読むこと。</p> <p>Week 10: Theories about relationship on marketing. 第10週：マーケティングにおける関係の理論 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 10 of textbook, paying attention to differences in 2 types of marketing. 予習・復習のポイント：「2タイプのマーケティングの違い」に着目しつつ、教科書第10章を読むこと。</p> <p>Week11: Structuring of marketing channel. 第11週：チャネル関係の構築 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 11 of textbook, paying attention to types of marketing channel and methods of channel management. 予習・復習のポイント：「チャネルの類型」「チャネル管理方法」に着目しつつ、教科書第11章を読むこと。</p> <p>Week 12: Ashida's experience of marketing and sales. 第12週：芦田のマーケティング・営業経験 Student Pre-Class Preparation: Have read materials. 予習・復習のポイント：事前に配布する資料を読むこと。</p> <p>Week 13: Structuring of relations with consumer. 第13週：営業活動による顧客関係の構築 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 12 of textbook, paying attention to activities, management, and process reform of sales. 予習・復習のポイント：「営業の活動、管理、プロセス革新」に着目しつつ、教科書第12章を読むこと。</p> <p>Week 14: Marketing and change of environment.(1) 第14週：マーケティングと環境変化(1) Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook, paying attention to influential changes of environment for evolution of marketing. 予習・復習のポイント：「マーケティングの進化にとって重要な環境変化」に着目しつつ、教科書第13章を読んでくこと。</p> <p>Week 15: Marketing and change of environment.(2) 第15週：マーケティングと環境変化(2) Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook, paying attention to influential changes of environment for evolution of marketing. 予習・復習のポイント：「マーケティングの進化にとって重要な環境変化」に着目しつつ、教科書第13章を読んでくこと。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	高嶋克義・桑原秀史『現代マーケティング論』有斐閣、2008年
指定図書 / Course Readings	Assigned during the classes.

	講義中に指定する。		
参考文献 / Reference List	Assigned during the classes. 講義中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Learning Attitude / 学修態度: 5% Report / レポート: 25% Final-examination / 学期末試験: 70%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None. 特になし。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良き協働関係の構築の仕方、および実際的な販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
留意点 / Additional Information	None. 特になし。		

2021/5/6

T-NEXT

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	日本の法律		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Japanese Law		
教員 / Instructor	金井 憲一郎 (Kanai, Kenichiro)		
分野 / Division	General / 共通	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	kanai@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 －(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 －(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 －(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<div> <input checked="" type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>フィールドワーク <input type="checkbox"/>実習 </div> <p>履修者が30人以上となった場合は困難を伴うが、ディスカッションは、毎回の授業の出席確認を兼ねて行う。毎回、一週間の間に原則として日本社会において生じた法律問題(ただし、授業で言及した諸法に限る)につき教員との対話を行うことに注力している。「わかりません」や黙秘権の行使は原則として受け付けない。この教員との対話が、当該年度授業の授業参加態度としての評価項目となることに留意して欲しい。</p> <p>ディベートについては、昨年度、具体的には、夫婦同姓か別姓か、女性に対する再婚禁止期間の合憲性について行った学期もあるが、当該学期の履修者の学力・理解力、法的思考を基礎にしたコミュニケーション能力を観察したうえで授業の進展を考慮してその実施の要不要を判断することとしたい。</p>
到達目標 / Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>- To help students recognize accurately the issues of Japanese society.</li> <li>- To help students recognize accurately what is legally problematic as to the issue.</li> <li>- To help students understand what legal thoughts are</li> <li>- To encourage students to consider the issues of Japanese society and work on legal solution.</li> <li>- To give students the opportunities to share their conclusions with others and seek to convince them.</li> </ul> <p>この授業の目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の社会が抱える問題を適切に認識すること、</li> <li>・この問題のどこが法的に問題かを的確に把握すること、</li> <li>・法律的にもの考えること（法的な思考）とは何かを理解すること、</li> <li>・日本の社会が抱える問題を自らの思考を通じて法的に解決を試みること、</li> <li>・自らが得られた結論を他者に示し、納得を得ること、</li> </ul> <p>である。</p> <p>日本における法律問題を法的に解決することの重要性を認識し、将来にわたって、より複雑化する現代日本社会における法的諸問題を解決していくために「考える、考え抜く」とはどのようなことであり、それらを考え続けるという強固かつ持続的な思考力を体得することを目指す。グローバルな視点は、「日本の法律」という切り口から、更により強いものになるだろう。「日本の法律」を知ることは、グローバルな社会における日本で生活するために必要不可欠でもある。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>This course will study Japanese law as one of the solutions to the issues after recognizing the problems of Japanese society. It is not sufficient to 'know' or 'learn' written laws as apparently written laws can not cover all the incidents and events which can occur in Japanese society. Written laws are merely clues to solution to the problems occurring in Japanese society and therefore 'interpretation of laws' is needed as the solution to the problems. The laws are interpreted and applied for the concrete problems, and through the process of 'application of laws' new and unwritten laws will be created. 'Interpretation and application of laws' will require 'legal thoughts'.</p> <p>This course will introduce students to 'unwritten laws' created through solution of problems, as well as 'legal thoughts' in addition to 'written laws'.</p> <p>この授業では、日本の社会が抱える問題を適切に把握し、その問題解決の手法の一つとして法律を学ぶ。「法律を学ぶ」といっても、単に「書かれている」法律を「知っている」あるいは「覚えている」だけでは不十分であり、問題解決にはおぼつかない。「書かれている」法律が社会の全ての事象を描き尽くすことができないことを考えてみれば、それは当然であろう。法律に書かれているのは、社会に存在する問題の解決の緒（いとぐち）に過ぎず、その解答は読めば分かるというものではない。そこで、問題解決の手法としての法律の「解釈」が必要となる。事実としての具体的問題に、法律を「解釈」し、そして「適用」する。この「適用」の過程を通じて新しい見えない法律がつくり出される。ただ、この「解釈」・「適用」は無原則になされるのではない。この背景には「法的思考」なるものが存在する。</p> <p>この授業を通じて、「書かれている」法律を知るだけでなく、問題解決を通じて導き出されてきた「書かれていない」法律やその背景となっている「法的思考」の一端にぜひ触れてもらいたい。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>いかなる新聞、いかなるテレビ、いかなるラジオ、いかなるネットニュースでもかまわないが(できるだけ新聞であることが望ましい。ネット情報についてはその信頼性の疑わしいものも見受けられるので、あまり推奨できない。)、毎日30分(授業から授業までの一週間で計210分)日本の法律に関連する報道(とりわけ、政治の動き、社会的出来事の掲載される社会面)にアクセスし、次の授業までにその情報を開陳できるようにすること(それを発言していただくことを出席確認を兼ねて行う)。</p>



	<p>2021年1月27日の本シラバス修正時点においても、世界中において新型コロナウイルスによる感染症がパンデミックとなっている。現在生存している人類の誰一人経験したことのない危機的状況下にある。世界史を紐解けば、ペスト、スペイン風邪、最近もエボラ出血熱等人間の生命を脅かす疫病と人類は向き合ってきた。このようなピンチをチャンスに変える絶好の機会と前向きに考えつつ、法をめぐる問題を考える必要がある。新型コロナウイルス感染症対応等のための特別措置法に基づく、2020年4月7日、2021年1月8日に発令された緊急事態宣言やその効果は、法律問題、とりわけ憲法のそれに他ならない。今学期も、この点をも掘り下げながら、具体的に考えていきたい。</p> <p>It can be any newspaper, any television, any radio, any net news (preferably newspapers as much as possible, and we do not recommend it as much as the reliability of online information is questionable), but 30 minutes daily (A total of 210 minutes per week from class to class) You can access news reports related to Japanese law (especially political movements, social aspects where social events are posted) and disclose the information by the next class. (Do not have them say it as a confirmation of attendance). Even at the time of this syllabus revision on January 27, 2021, infectious diseases caused by the new coronavirus are pandemics all over the world. It is in a crisis situation that no one living human beings has ever experienced. Looking at world history, humankind has faced life-threatening plagues such as plague, the Spanish flu, and recently Ebola. It is necessary to think positively about the issue of law while thinking positively that it is a great opportunity to turn such a pinch into an opportunity. The state of emergency issued on April 7, 2020 and January 7, 2021 based on the Act on Special Measures for Coronavirus Infectious Diseases and its effects are nothing but legal issues, especially those of the Constitution. ... In this semester as well, I would like to delve into this point and think concretely.</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>レポートに対して、コメントを付してフィードバックを行う。</p> <p>Give feedback on the report with comments.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>第1週：ガイダンス 講義の進め方や評価方法、予習・復習のポイント等、本講義を受講するにあたっての基本的事項についての説明を行う。具体的には、以下のようなものである。本講義は、日本語により行うこととし、大きく分けて民法を中心とした法学概論と憲法の二つに分解される。前者においては、山田卓生『法学入門 社会生活と法』（信山社、2013年）を下敷きにしなが、その重要ポイントを中心に法のイメージを持ていただく。教員は民法学を専門としていることから、それを中心に説示する。民法は、「日常生活の基礎法」であり、きわめて重要な位置を諸君の人生の様々なステージにおいて占めていることを浮き彫りにしたい。その後、それら民法を中心にした法のイメージを前提とし、憲法の重要ポイントにつき、主として渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』（岩波新書、2014年）により講義を行う。なお、この本を事前に読んでいただき、レポートを書いていただくことを予定している。その結果を後半の憲法の説示に反映させる予定である。その点で、前者のテキストは、30回の講義全体に折に触れて読み返す必要があり、後者は、レポート作成、ならびに後半に授業にて使用する。時間があれば、前半と後半の間に小テストを実施することもある。しかし、下記の次週以降は、あくまでも一応のスケジュールであり、参加者の年次、理解度や学習の進展を考慮して、その都度の変更もあり得ることに留意して欲しい。ちなみに、昨年度は30回の講義のうち、20回を法学、10回を憲法の講義にその時間を割り当てた。本講義にとって有益な法律問題がタイムリーに発生した場合、相当程度の時間を割き、参加者諸君にできるだけ具体的な法へのイメージを持ていただくような講義を展開したい。法学の理解にはある程度のテクニカル・ターム、論理的な文章に慣れていただく必要がある(法学は、専門性のきわめて高い応用科目であるので、1年生の受講はその性質や内容からして相当ハードで、独学が難しい学問分野であることを認識しておいて欲しい)。重要ポイントは何度も繰り返す等わかり易い講義を心掛けるが、参加者の相当程度の予習・復習等自学も求められる。参加者におかれては、臆せず、小さなことでも良いので、疑問や質問を携えて授業に出席して欲しい。質問は大歓迎である。細かい点にこだわらず、広い視野から法、憲法のイメージをつかむことに努めつつ、授業中は自分でノートやメモをとる習慣もつけて欲しい。結局は、この作業によって、一定程度の文章作成能力が培われることになる。また、後者の憲法の改正論議もさることながら、民法も、大きな改正が2020年以降相次いでなされている。債権法、相続法、そして、成人年齢が18歳になること(2022年4月1日施行)等がそれである。それらについても、その重要性に鑑み、それらの説示に相応の時間を割くことになるだろう。平成末から令和になった最近程、受講生にとっても重要な基本的法律の改正がなされている時期はないといってよい。繰り返すが、次週以降のスケジュールはあくまでも予定であることに留意されたい。</p> <p>なお、授業の仕方は、第1週の講義の受講生の数を見ながら考えたい。何故なら、本講義は出席確認を兼ねて、復習事項や日々生起しているニュース、当該授業プロパーのこと等を問う等した対話形式を導入した講義を行っているからである。本講義は受講生の「考える力」を養うこと、法律学という学問の性質上の二つの理由から、一方通行の講義は適切ではないと考えている。昨年度も、授業とゼミナールの双方の性質を有する講義であったことを付言したい。いずれにせよ、対話形式の授業は、参加人数次第である。これまでに約50人の履修者があったことがあったが、この人数だと授業は一方通行に傾きがちになる。可能な限りインターラクティブな授業を展開ができるよう努めたい。</p> <p>第2週：社会生活における法／法の存在形態／法と裁判／法は誰がつくるのか 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』 1～4</p> <p>第3週：法の種類(1)一民事法と刑事法／法の種類(2)一公法と私法／法の種類(3)一実体法と手続法／法の種類(4)一国家法と自治法 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』 5～8</p> <p>第4週：法の解釈／法と法律家／法の順守／法の衝突 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』 9～12</p> <p>第5週：法と道徳／法と常識／法と社会変動 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』 13～15</p> <p>第6週：財産の法／家族の法／刑罰と法／行政と法／国際関係と法 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』 16～20</p> <p>第7週：これまでのまとめを行い、それを前提として民法等他の法律と憲法との繋がり、憲法の基本概念について説明していく。 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』、渋谷秀樹『憲法への招待</p>

	<p>(新版)』</p> <p>第8週：憲法と立憲主義</p> <p>第7週までの、法というもののイメージを前提として、本週以降は、憲法と、主として民法との違いを常に意識しながら講義を行っていく。具体的には、憲法の判例でありながら、民法にも関連する判例を特に意識的に取り上げていく。憲法の理解においては、生きた法ともいべき判例がとりわけ重要だからである。憲法については、103箇条であることから、そのすべてについてまずはどのような内容の規定があるのかに留意しつつ、説示する。そのうえで、憲法とはそもそも何かに関連する立憲主義の概念、制限規範の概念等憲法の原理にどのようなものがあるかについて講義する。これら憲法の原理を知ることが、現在、国会で行われている「憲法改正問題」にアプローチするための出発点であるからである。この憲法に通底する原理の理解には、相応の時間を要するので、その後の講義はより重点を絞った形での、個別論点につき概説することになろう。</p> <p>最終的には、憲法の条文にどのようなことが書かれているかを知り、その構成や体系を知ることが最も肝要である。憲法学は、法律学の中でも最も難解かつ深遠な学問分野であり、憲法の原理の理解を前提として、諸君が社会人になっても、考え続けるべき対象であるということができよう。</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第1章</p> <p>第9週：人権とはそもそも何か</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第2章</p> <p>第10週：どのような人権が保障されるのか</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章</p> <p>第11週：どのような人権が保障されるのか</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章</p> <p>第12週：どのような人権が保障されるのか、政府を動かす原理は何か</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章～第4章</p> <p>第13週：政府を動かす原理は何か、政府の活動内容は具体的にどのようなものか</p> <p>予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第4章～第5章</p> <p>第14週:政府の活動内容は具体的にどのようなものか</p> <p>予習・復習のポイント:事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第5章</p> <p>第15週:第8週以降の復習を行い、合わせて全講義全体の総まとめを行う。</p> <p>予習・復習のポイント:これまでの授業で説示のあった重要ポイントにつきノートやレジュメを読み直しておくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』、渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	<p>Week 1: Guidance We will explain the basic matters for taking this lecture, such as how to proceed with the lecture, evaluation method, points for preparation and review. Specifically, it is as follows. This lecture will be given in Japanese and can be broadly divided into two parts: an introduction to law centered on civil law and the Constitution. In the former case, based on Takao Yamada's "Introduction to Law, Social Life and Law" (Shinzansha Publisher, 2013), you will have an image of law focusing on its important points. Since the teacher specializes in civil law, I will mainly explain it. I would like to highlight that civil law is the "basic law of everyday life" and occupies a very important position at various stages of your life. After that, based on the image of the law centered on those civil laws, lectures will be given mainly on the important points of the Constitution by Hideki Shibutani's "Invitation to the Constitution (New Edition)" (Iwanami Shinsho, 2014). We plan to have you read this book in advance and write a report. The results will be reflected in the latter half of the constitutional instruction. In that respect, the former text needs to be read back from time to time throughout the 30 lectures, and the latter will be used in report writing and in class later. If I have time, I'm thinking of doing a quiz between the first half and the second half. However, please note that the schedule for the following weeks and beyond is just a tentative schedule, and may change each time, taking into consideration the participants' year, understanding, and progress in learning. By the way, last year, of the 30 lectures, 20 were allocated to law and 10 to constitutional lectures. If a legal problem that is useful for this lecture occurs in a timely manner, I would like to devote a considerable amount of time to the lecture so that the participants can have an image of the law as concretely as possible. To understand law, it is necessary to familiarize yourself with some technical terms and logical sentences (because law is a highly specialized applied subject, first grade students should take it because of its nature and content. Please be aware that it is a very hard and difficult academic field to study on your own). The important point is to try to make the lecture easy to understand, such as repeating it many times, but it is also required for the participants to self-study such as preparation and review. Participants should not be afraid and even small things are fine, so please attend the class with questions and questions. Questions are welcome. I would like you to get into the habit of taking notes and memos yourself during class while trying to grasp the image of the law and the constitution from a broad perspective without being particular about the details. In the end, this work will cultivate a certain level of writing ability. In addition to the latter debate on the revision of the Constitution, the Civil Code has undergone major revisions since 2020. These include the credit law, the inheritance law, and the adult age of 18 (enforced April 1, 2022). Again, given their importance, they will spend a reasonable amount of time on their instructions. It can be said that there has never been a time when the basic laws, which are important for students, have been amended as recently as the reiwa began at the end of Heisei. Again, keep in mind that the schedule for the next week and beyond is just a plan. In addition, I would like to think about how to teach while looking at the number of students in the first week's lecture. This is because this lecture also serves as a confirmation of attendance, and introduces a dialogue format that asks about review items, daily news, and the class proper. I think that this lecture is not appropriate for one-way lectures because of the two reasons of cultivating the "thinking power" of the students and the nature of the academic field of law. I would like to add that last year as well, the lecture had the characteristics of both a class and a seminar. In any case, interactive lessons depend on the number of participants. So far, there have been about 50 students, but with this number of students, classes tend to be one-way. I would like to try to develop interactive lessons as much as possible.</p> <p>Week 2: Law / Law Existence Form / Law and Trial / Who Creates Law in Social Life? Points for preparation and review:</p>

	<p>Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law "1-4</p> <p>Week 3: Types of Law (1) -Civil Law and Criminal Law / Types of Law (2) -Public Law and Private Law / Types of Law (3) -Substantive Law and Procedure Law / Types of Law (4) -National law and local autonomy law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law 5-8</p> <p>Week 4: Interpretation of Law / Law and Lawyer / Compliance with Law / Clash of Law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law 9-12</p> <p>Week 5: Law and Morality / Law and Common Sense / Law and Social Change Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law" 13-15</p> <p>Week 6: Property Law / Family Law / Punishment and Law / Administration and Law / International Relations and Law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law" 16-20</p> <p>Week 7: Summarize the past, and on the premise of that, the connection between other laws such as civil law and the Constitution, and the basic concept of the Constitution. I will explain. Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law", Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)"</p> <p>Week 8: Constitution and Constitutionalism Based on the image of law until the 7th week, from this week onward, lectures will be given while always being aware of the difference between the Constitution and mainly civil law. Specifically, we will consciously take up judicial precedents related to civil law, even though they are constitutional judicial precedents. This is because judicial precedents, which can be called living law, are particularly important in understanding the Constitution. Since there are 103 articles in the Constitution, I will explain all of them, paying attention to what kind of provisions there are. After that, I will give a lecture on what the principles of the Constitution are, such as the concept of constitutionalism and the concept of restrictive norms, which are related to what the Constitution is in the first place. This is because knowing these principles of the Constitution is the starting point for approaching the "constitutional amendment issue" currently being held in the Diet. It will take some time to understand the principles underlying this Constitution, so subsequent lectures will outline individual issues in a more focused manner. Ultimately, it is most important to know what is written in the text of the Constitution, and to know its structure and system. Constitutional law is the most esoteric and profound discipline in law, and it can be said that even if you become a member of society, you should continue to think about it, given an understanding of the principles of the Constitution. Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 1</p> <p>Week 9: What are human rights in the first place? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 2</p> <p>Week 10: What kind of human rights are guaranteed? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 3</p> <p>Week 11: What kind of human rights are guaranteed? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 3</p> <p>Week 12: What human rights are guaranteed and what are the principles that move the government? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapters 3-4</p> <p>Week 13: What are the principles that move the government, and what are the specific activities of the government? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapters 4-5</p> <p>Week 14: What exactly is the government's activity? Points for preparation / review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 5</p> <p>Week 15: Review week 8 and beyond, and summarize all lectures. Preparation / review points: Reread the notes and resumes for the important points that were explained in the previous lessons. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law", Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)"</p>
教科書 / Textbook	<p>山田卓生 『法学入門 社会生活と法』 信山社、2013年</p> <p>渋谷秀樹 『憲法への招待(新版)』 岩波新書、2014年</p>
指定図書 / Course Readings	<p>List of weekly readings will be given in the class</p> <p>芦部信喜 高橋和之補訂 『憲法(第七版)』 岩波書店、2019年</p> <p>西原博史編 『教職課程のための憲法入門(第二版)』 (弘文堂、2019年)</p> <p>緒方桂子・豊島明子・長谷河亜希子編 『日本の法 第二版』 (日本評論社、2020年)</p> <p>大村敦志 『生活民法入門』 東京大学出版会、2003年</p> <p>初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行編 『いちばんやさしい憲法入門 第6版』 (有斐閣、2020年)</p>
参考文献 / Reference List	<p>日々の新聞朝刊・夕刊各紙。ちなみに、多摩大学グローバルスタディーズ学部の図書館には、日経新聞、朝日新聞、読売新聞が所蔵されている。</p> <p>Daily newspaper morning and evening newspapers. By the way, the library of the Faculty of Global Studies, Tama University holds the Nikkei, Asahi, and Yomiuri newspapers.</p>

評価方法 / Method of Evaluation	<p>Class participation / 平常点: 10% (本学の6回ルールによる。原則として、診断書を繰り返すことで、例えば、診断書を7回出した場合、単位を認めるかは、それまでの授業参加態度やレポート評価等総合的に判断するので、ケースバイケースと理解されたい。毎週2時限続きの授業であるので、一週間欠席すると相当程度授業が展開し、毎学期、レポート提出期限後に授業に出席されなくなる方がいるが、非常に残念である。)</p> <p>Class performance and Report / 授業参加態度: レポート: 40% (授業参加態度とは、具体的には発言内容による。)</p> <p>Final examination / 学期末試験: 50%</p> <p>2020年12月22日現在の本シラバス作成時点では、新型コロナウイルスの終息が見通せず、場合によっては学期末試験が実施できない可能性もあり、その場合は上記レポートとオンライン授業における平常点(発言)、その他小テスト等行うことも検討している旨留意されたい。新型コロナウイルスによる感染症パンデミックの状況次第では、それぞれの評価の割合も多少変化させざるを得ない場合もあることから、レポート、平常点、小テスト、発言他授業に真剣に取り組むことをお願いしたい(学期末試験が実施できない場合は、レポート50%、授業での発言・コメント・質問・小テスト他50%で評価する)。</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	<p>本学1年生必修科目である、「日本語文章表現法」の講義を事前あるいは同時並行に履修することが望ましい。日本語の表現方法の知識がないと、法律用語等技術的なタームを用いた条文、裁判例、教科書等を理解することに加え、論理的な文章を書くことが難しいからである。</p> <p>日本史、世界史、文学等幅広い教養科目を履修することは、法という抽象的な世界(特に、どのように法が生成されてきたか)を知るために必要な知識の源ともいえるべきものであり、それらに対する関心を持つことも求められる。</p> <p>It is desirable to take a lecture on "Japanese Sentence Expression", which is a compulsory subject of this university, in advance or in parallel. This is because without knowledge of how to express Japanese, it is difficult to write logical sentences in addition to understanding articles, judicial precedents, textbooks, etc. that use technical terms such as legal terms. Taking a wide range of liberal arts subjects such as Japanese history, world history, and literature is a source of knowledge necessary to know the abstract world of law (especially how law was generated). And it is also required to have an interest in them.</p>		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における法務を中心とした総務・人事等総務全般の実務経験を活かし、日本社会のいかなる場面でどのような法律が解釈・適用され、実社会における諸問題が法的にどのように解決されているのか、反面において解決されない問題点としてどのような諸問題が残されているかにつき、それぞれの具体例も説示することにも留意することとしたい。
留意点 / Additional Information	<p>In this course, we intend to regularly touch upon up-to-date information on the current state of the law and its enforcement (and, in particular, the constitution and its proposed revisions, which have been subject to abundant discussion over the past few years). While taking this course, and even after having taken it, it will be crucial for students to pay attention to news on a daily basis, be it through the television, the radio, the internet, the newspapers or any other media.</p> <p>実際の法運用状況(特に、近時、憲法改正等憲法に関する議論が盛んに行われています)については、その都度アップ・ツー・デイトな情報を講義において触れることに意を用いたいと考えている。本講義受講中、そして受講後においても、テレビ・ラジオ・インターネット・新聞如何なる媒体でもかまわないので、日々の政治関連のニュース等に注意を払うことが重要である。</p>		

2021/5/6

T-NEXT

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	コンピューター入門		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Computers		
教員 / Instructor	浅原 房夫 (Asahara, Fusao)		
分野 / Division	General / 共通	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	asahara-f@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>ー(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク（ペアワーク）</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>フィールドワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習</p>
到達目標 / Course Goals	<p>In this course, students will practice the basic computer operations, and receive lectures on basic IT knowledge. Both parts of the course aim to equip students with the basic computer skills and knowledge necessary for the curriculums of this university, and after graduation when they are employed. For the skills learning, students will begin with the basic operations of the computer and then move on to basic operations on Windows and Microsoft Office. The goal is to reach the level where students can write essays and give seminar presentations without difficulty. The aim of this lecture is that, by the end of the semester, students not only become knowledgeable of how to use a computer without any problems for submitting future reports and making presentations in their 2nd year, but also to have sufficient IT skills to help people around them.</p> <p>この授業ではパソコン基本操作の演習とＩＴの基礎知識を解説します。本学の教育課程（２年次以降）と卒業後の社会人生に必要なパソコン操作の能力と知識を獲得することを目標とします。</p> <p>ＰＣスキル獲得のため、パソコン、まずWindowsおよびMicrosoft Officeの基本操作を学び、レポート作成、ゼミ等での発表（プレゼンテーション）を自由にできるレベルを目指します。</p> <p>２年次以降のレポート提出や発表、あるいはビジネスでのパソコン使用の際に、前段階にあたるパソコンの操作で困ることがなく、むしろ周囲を支援できるＩＴスキルを持った学生となっていることを、授業終了時の到達目標とします。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>Computer Skills: Operation of the keyboard, essay and business document writing using Microsoft Word, creating and editing charts on Microsoft Excel, processing data and creating graphs on Excel, presentation using Microsoft PowerPoint, using emails both on Google Chrome - students will learn these practical computer skills by working on the actual computer.</p> <p>正確で早いキーボード操作（タッチタイプ）、Wordを使ったビジネス文書作成、Excelの表作成・編集、データ処理、グラフ作成、PowerPointによるスライド資料作成およびそのスライドを使ったプレゼンテーション、Google Chrome を使ったメールの活用、メールマナー、メール活用術などのスキルを実際にパソコン操作しながら身につけます。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Your first preparation will be practicing touch typing and input in Japanese. You will learn the basic skills during the first class, so there is nothing you need to do by then. Afterwards, you will learn 15 hours in average for 5 weeks. You will also learn how to convert to Japanese.</p> <p>From the 3rd class, you will follow the learning cycle below. First, during class, you will learn how to use a computer correctly. You will listen to the explanations on the textbook your teacher will provide you with, then practice during class, in other words, you will acquire the computer skill that is the theme of the class of that day. You shall submit the results of your practice by email. If you could not finish within the required time, you shall finish it at home or the seminar room by the next class. This will be your preparation for the next class. You will need to study by yourself for about 10 hours by the end of the term.</p> <p>Learning further with the textbook, you will see a task called "practice" at the end of each chapter, which is your assignment that will help you learn the next chapter in a smooth manner. This learning will require about 20 hours. That way, you will follow the learning cycle that is practicing in class - revision (preparation) - next class, to achieve the goal of this class.</p> <p>学期前（初回授業前）の準備学習はありません。最初の授業で勉強のコツをいろいろ教えます。</p> <p>最初の５週の準備学習は、タッチタイプや日本語入力の実習です。平均１５時間くらいが必要です。</p> <p>タッチタイプとはキーボードを見ないで、画面だけを見て、早く正確に文字入力をするパソコン・テクニックです。うまくなるために無料のウェブサイトを活用して、タッチタイプの練習をします。最初の２回の授業ではこのタッチタイプのコツを学びます。その後、日本語変換のコツも学び直しをします。</p> <p>３回目からは以下の学習サイクルで学びます。</p> <p>まず授業で、その日の授業テーマのパソコン操作の正しいやりかたを学びます。講師から教科書の説明を聞いて、授業内で実習をおこない、つまりその日の授業テーマのパソコンスキルを身につけます。実習の結果（ファイル）はメールで提出します。時間内で完成できない場合は、次回までに自宅あるいは演習室で完成させて提出します。これがそのまま次回の準備学習になります。６回目以降の授業はだんだん難しくなるので、学期末までに１０時間程度の自習が必要です。</p> <p>そして教科書が進むと章末に「実習」という課題があり、次の章の学習をスムーズにおこなうための宿題となります。この学習には２０時間くらいが必要です。これにより、授業での実習～復習（予習）～次の授業という学習サイクルが確立し、この授業の到達目標が達成されます。</p>

フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>If there is anything you do not understand with using the computer, you can ask questions anytime. If you do not understand the demonstration by the teacher, you can make a request and the teacher will show you again on the spot. If you did not catch a word or did not understand well a detail, you can ask students around you. If you need any support, the TA (Teaching Assistant) will be here to help you. The TA is a student in second year or over, and who knows how to use a computer. You can rely on the TA anytime. Students will be taught again during the last 20 minutes of the 5th period if they wish so. You shall put a short comment (about 3 lines) on each task you did during class, and send both by email each time.</p> <p>わからないところがあれば、授業の途中ででも質問ができます。講師の模範操作がわからない場合は、リクエストするとその場でもう1度やって見せてもらえます。聞き漏らしたところや少しだけわからなかったところは、まわりの学生と相談してかまいません。困ってしまったら、T Aが助けてくれます。T Aとは2年生以上のパソコンの得意な学生がなる授業アシスタントで、ティーチングアシスタントの略称です。T Aには授業中、いつでも頼ってかまいません。先生にもう一度指導して欲しい学生は、5限目の最後の20分(17:30～17:50)で指導を受けることができます。とにかく、その日に習ったことはその日、ちゃんと覚えて帰るようにします。また授業でやった課題は短い感想をつけて、毎回メールで提出します。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>1st week: preparation The teacher will talk about what is required in class, what you need to know to improve your skills in using a computer. It is fine if at first, you do not understand the computer terminology written in this syllabus. Even those who are not good at using machines, will be able to learn thoroughly. It is made in a way that anybody can learn the meaning of the words in class, and become able to use a computer after attending class for 15 weeks.</p> <p>2nd week: basics of Windows There are basic manipulations in Windows. You will learn how to use a computer not in a style you may have taught yourself.</p> <p>3rd week: Text input *Textbook P.34 to P.46 Microsoft Word #1: You will learn the ordinary method to input characters, not in the style you might have taught yourself Microsoft Word #2: You will learn to gradually be faster in typing correctly with a keyboard.</p> <p>4th week: creation of a document * Textbook P.48 to P.64 Microsoft Word #3: Text input, document saving/loading, page setting, Microsoft Word #4: Page setting, print preview, print, cut and paste, copy and paste</p> <p>5th week: Edit function *Textbook P.71 to P.84 Microsoft Word #5: Right/Center-justify (alignment), font, Microsoft Word #6: Chart, Distributed, Insert/Delete rows</p> <p>6th week: Creation of a business letter *Textbook P.85 to P.89 Microsoft Word #7: Insert/Edit Picture, Text Box Microsoft Word #8: Layout and business letter etiquette</p> <p>7th week: Mid-term exam Last-minute learning for the mid-term exam * Will be conducted with tasks similar to the mid-term exam Mid-term exam: Making/Editing a document with Word * You can bring your textbook</p> <p>8th week: basics of presentation * Printing materials will be distributed Microsoft PowerPoint #: Making a presentation document (1 file). Microsoft PowerPoint #2: Making a presentation of a same level as #1 (2 files).</p> <p>9th week: Introduction to Excel * Textbook P.95 to P.113 Microsoft Excel #1: Data input Character string/Number, save a file, print, edit and format cells Microsoft Excel #2: Sequential data (AutoFill), input formulas, borders, worksheet format</p> <p>10th week: Graphs *Textbook P.114 to P.125 Microsoft Excel #3: Making graphs Bar/Pie/Line graph/Radar chart Microsoft Excel #4: Edit/Format graphs</p> <p>11th week: Function *Textbook P.134 to P.145 Microsoft Excel #5: AutoSum button, Function (SUM/RANK) Microsoft Excel #6: Function (RANK/ROUND/IF), nested IF function</p> <p>12th week: Database *Textbook P.146 to P.152 Microsoft Excel #7: Conditional tabulation (SUMIF, COUNTIF, VLOOKUP) Microsoft Excel #8: Sort and Filter</p> <p>13th week: advanced use of Excel *Textbook P.153 to P.165 Microsoft Excel #10: Conditional formatting, Table Microsoft Excel #11: Use of Pivot Table, Cross Tabulation, Filter</p> <p>14th week: working on textbook problems (practice) with the teacher Microsoft Excel #12: Practice 33 to 38 Microsoft Excel #13: Practice 39 to 44</p> <p>15th week: Final exam Last-minute learning for the final exam * Will be conducted with tasks similar to the final exam Final exam: use of Excel * You can bring your textbook</p>

	<p>第1週：学習の準備 授業に必要なこと、パソコン操作の上達に必要なことをお話しします。 このシラバスに書いてあるパソコン用語は最初はわからなくてもかまいません。機械が苦手な人もしっかり学べます。誰でも授業で意味を覚えて、15週の授業が終わる頃はパソコンが使えるようになっています。この授業は2コマ連続なので、3週目以降は2コマ分の内容が記載してあります。</p> <p>第2週：Windowsの基本操作 Windowsには基本操作があります。自己流じゃないパソコン操作を身につけます。</p> <p>第3週：文章の入力 ※教科書p.34～p.46 Microsoft Word #1:自己流じゃない、ふつうの文字入力を学びます。 Microsoft Word #2:だんだん早く正確にキーボードの入力ができるように学びます。</p> <p>第4週：文書作成 ※教科書p.48～p.64 Microsoft Word #3：文章の入力、文書の保存・読み込み、ページ設定、 Microsoft Word #4：ページ設定、印刷プレビュー、印刷、複写・移動・削除、コピー＆ペースト</p> <p>第5週：編集機能 ※教科書p.71～84 Microsoft Word #5：右揃え・中央揃え、フォント、 Microsoft Word #6：表、均等割り付け、行列の挿入・削除</p> <p>第6週：ビジネス文書作成 ※教科書p.85～89 Microsoft Word #7：画像の挿入・編集、テキストボックス Microsoft Word #8：レイアウトとビジネス文書のマナー</p> <p>第7週：中間試験 中間試験の直前学習 ※中間試験と同じような課題にやります。 中間試験：Wordでの文書作成・編集 ※教科書持ち込み可</p> <p>第8週：プレゼンテーションの基本 ※プリント配布 Microsoft PowerPoint #1:プレゼンテーション資料（1ファイル）を作成する。 Microsoft PowerPoint #2:#1と同レベルのプレゼンテーション（2ファイル）を作成する。</p> <p>第9週：Excel入門 ※教科書p.95～113 Microsoft Excel #1：データ入力 文字列・数値、ファイルの保存、印刷、セルの編集と書式設定 Microsoft Excel #2：連続データ(オートフィル)、数式の入力、罫線、ワークシートの書式</p> <p>第10週：グラフ ※教科書p.114～125 Microsoft Excel #3：グラフ作成 棒・円・折れ線・レーダーチャート Microsoft Excel #4：グラフの編集・書式設定</p> <p>第11週：関数 ※教科書p.134～145 Microsoft Excel #5：オートSUMボタン、関数（合計・ランキング） Microsoft Excel #6：関数（順位・四捨五入・判定）、IF関数のネスト</p> <p>第12週：データベース ※教科書p.146～152 Microsoft Excel #7：条件による集計（SUMIF、COUNTIF、VLOOKUP） Microsoft Excel #8：並べ替えとフィルター</p> <p>第13週：Excelの高度な活用 ※教科書p.153～165 Microsoft Excel #10：条件付き書式、テーブル Microsoft Excel #11：ピボットテーブル、クロス集計、フィルターの利用</p> <p>第14週：教科書の問題（実習）を先生といっしょにやる Microsoft Excel #12：実習3 3～3 8 Microsoft Excel #13：実習3 9～4 4</p> <p>第15週：期末試験 期末試験の直前学習 ※期末試験と同じような課題にやります。 期末試験：Excelの操作 ※教科書持ち込み可</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	『30時間でマスター Word&Excel2019』実教出版、2019年
指定図書 / Course Readings	なし
参考文献 / Reference List	なし
評価方法 / Method of Evaluation	<p>Usual scores account for 40% *Scores obtained from submissions and not from attending class Tasks: 20% *The "Practice" at the end of the textbook chapters. Mid-term exam : 20% Final exam: 20%</p>

	平常点40% ※出席点ではなく、毎回の授業での作成物の提出点です。 課題 20% ※教科書の章末の「実習」です。全部、自宅でするのははく、授業時間内でコツを学び、できるだけ進めますが、残ったところが宿題になります。 中間試験 (Word) 20% 期末試験 (Excel) 20%		
事前履修科目等 / Prerequisite	なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を生かして、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
留意点 / Additional Information	- This course is the prerequisite for many other IT courses. It is highly recommended to take this course at the first year. ・本授業は他のコンピューター関連科目を履修する際の必須要件で、1年次での履修が必要です。		



講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	コミュニケーション		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Communication		
教員 / Instructor	萩原 浩一 (Hagiwara, Hirokazu)		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	hagiwara@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（ペアワーク） <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	To help students understand and learn the issues below and acquire 'enhanced powers of expression', and then learn to give appealing presentations. - Self-expression---how to express himself/herself - The power of speech represents the lifestyle - The words of speech can appeal to listeners - Respect is the basics of communication - Communication with which people feel happy - People can foster rich humanity by way of communication この講義の目的は、 ・自己表現力、自分をどのように表現できるか。 ・話す力は、人間の生き方（人生）をあらわしている。 ・話し手の言葉は、聴き手の心に訴える。 ・人への敬意が、コミュニケーションの基本。 ・それぞれが幸福を感じるコミュニケーション。 ・コミュニケーションを通じ、人間性を磨くことができる。 ・日本のことに興味をもつ。 ・正しい日本語能力を高める。 などを学び、理解し、「鍛えられた表現力」を身につけ、魅力的なプレゼンテーションができることを目指す。
講義の概要 / Course Description	In our current global society, sophisticated communication skills are needed today more than ever. It is important to build a good and positive human relation in order to enhance communication ability. This course will provide an introduction of communication and then explore it with an emphasis on practice and in-class performance. It also aims to enhance students' communication ability in Japanese language. This course will focus on lectures by communication professionals such as radio DJs, TV DJs, and Events MCs. グローバル社会の現代ほど、コミュニケーションの技術が求められている時代はない。コミュニケーション力を高めるために大切なことは、質の高い素晴らしい人間関係を築いていくことである。コミュニケーションの基礎から発展し、実技・実践を伴いながら進めていく。併せて、日本語の表現力を高める。 ・ラジオ番組のDJ & パーソナリティー、テレビ番組のキャスター & ナビゲーター、イベントなどのMCから学ぶコミュニケーション講座。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	・教科書は、事前に読んでおくこと。（1時間） ・毎日、日本国内・海外のニュースなどの出来事を必ずチェックして、現在社会の状況について知っておくこと。（スマホなどの情報ではなく、地上波のテレビ番組、ラジオ番組でチェックする）（1.5時間） ・発音・発声練習（0.5時間）
フィードバックの要領 / Detail of feedback	課題等にたいしては、フィードバックをします。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	第1週：オリエンテーション 予習・復習のポイント：講義概要を事前に読むこと。何事にも興味を持ち、目標を持って、前向きに講義に臨むこと。発声練習・発音練習。フリートーク・アドリブ他。  第2週：話すための基礎技術1 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。スポーツ新聞を読む。フリートーク・アドリブ他。  第3週：話すための基礎技術2 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。新聞（朝刊）を読む。フ

	<p>リートーク・アドリブ他。</p> <p>第4週：聴く力の基礎技術1 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。ラジオ番組・ラジオCMを聴く。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第5週：聴く力の基礎技術2 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。テレビ番組・テレビCMを視る。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第6週：現代ことば事情 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。新聞（夕刊）を読む。新聞チラシ広告を読む。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第7週：敬語表現 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。もし家にあれば、中学校の国語の教科書「敬語」のところを読んでくること。クレーム処理のコミュニケーション、フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第8週：中間復習 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の今まで学んだところを、もう一度読んでくること。クレーム処理のコミュニケーション、フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第9週：プライベートスピーキング&amp;パブリックスピーキング1 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。自分の長所・短所などをわかりやすくまとめておくこと。現在の政治状況を確認しておくこと。新聞（朝刊・夕刊）を読む。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第10週：プライベートスピーキング&amp;パブリックスピーキング2 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。自分の趣味・特技などをわかりやすくまとめておくこと。現在の経済状況を確認しておくこと。新聞（朝刊・夕刊）を読む。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第11週：プレゼンテーション1 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。タウン誌・タウン新聞を読む。市町村の広報紙を読む。自分の住んでいる（または故郷の）市町村について学んでおくこと。【市町村の観光PRトーク】</p> <p>第12週：プレゼンテーション2 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。情報誌を読む。都道府県の広報紙を読む。自分の住んでいる（または故郷の）都道府県について学んでおくこと。【都道府県の観光PRトーク】、フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第13週：コミュニケーション1 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。テレビ番組（旅行番組・対談番組・インタビュー番組など）を視る。【日本の観光PRトーク】他。</p> <p>第14週：コミュニケーション2 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。ラジオ番組を聴く。専門雑誌などを読む。【自分の好きな国・興味のある国の観光PRトーク】フリートーク・アドリブ他。</p> <p>第15週：まとめ 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の今まで学んだところを、じっくり何回も読んでくること。フリートーク・アドリブのまとめ。自分の故郷（住んでいるところ）、市町村、都道府県、日本国内、世界各国・地域の観光について（予習・復習）学んで、観光PRトークのまとめ。</p>
週ごとの授業計画2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	櫻井弘著【人を巻き込むコミュニケーション技術~その気にさせる仕事のさばき方~】
指定図書 / Course Readings	無し
参考文献 / Reference List	無し
評価方法 / Method of Evaluation	平常点（出欠席・遅刻、授業態度、忘れ物、発言力、発表力など）50% 提出物（大レポート、小レポートなど）50%
事前履修科目等 / Prerequisite	無し

実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	ラジオ番組でのDJ & パーソナリティ & テレビ番組キャスター & MC、各企業・団体のPR大使、タレント等としての経験を活かし、実践的なコミュニケーションのスキルについて学ぶ。
留意点 / Additional Information	<p>This course will be conducted in Japanese.</p> <p>本科目の講義は日本語で行う。</p> <p>アナログ形式の授業で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな理由でも、プレントリーをしていないと履修できません。</li> <li>・初回の4月8日木曜日1限と4月9日金曜日1限の両方の授業に出席しないと履修できない。</li> <li>・履修者は35名までとする。（授業時間内に全員にスピーチの時間が取れないため。）</li> <li>・欠席は原則としてしないのが当たり前ですが、3日まで可能ではなく、30回の授業の内、【3回まで】とします。</li> <li>・遅刻は、欠席扱いになる。</li> <li>・私語は厳禁。（まわりの学生に迷惑をかけること。）</li> <li>・居眠りする学生は退室させます。</li> <li>・授業中、スマホ、携帯電話の使用禁止、バックの中にしまうこと。（これ守れないと不合格）</li> <li>・試験は行いません。授業でのスピーチの点数、小レポート（毎回予定）と大レポートを3回提出と、ゲスト講師（2回予定）の感想文を提出、全部提出しないと不合格。</li> <li>・教科書は必ず購入のこと。毎回持参。購入無い場合は、不合格。</li> <li>・テレビ番組、ラジオ番組、新聞、雑誌などの内容・詳細については、その都度指示する。</li> <li>・約束事を守る。</li> <li>・ゲスト講師の特別講義も予定。</li> <li>・授業中の退室は禁止。（体調不良の場合のみ許可制）</li> <li>・礼儀マナーを守ること。</li> </ul> <p>★筆記用具、ノートを必ず用意してください。</p> <p>★オンライン授業、またはオンライン授業・対面式授業併用の場合は、週の授業計画が変更になります。</p>		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅠ		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management I		
教員 / Instructor	張 陽子 (Chang, Yoko)		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	chang@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション（その時・その週に話題になった国内外の情勢を含めテーマを出す） <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（各週のテーマを元に話し合い発表） <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション（立候補により各自それぞれのテーマに沿った内容で資料を制作し発表する） <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	The course objectives are: 1. To understand SDGs and how to integrate it into your job/work 2. To enable students to understand their perspective as an international student 3. To improve skills to express their character  授業の目的は次の通りである： 1. SDGsを理解しそれを活かして仕事に結びつけられる様にする 2. 国際人としての自覚・理解 3. 自己アピール能力を高める
講義の概要 / Course Description	In this course, we will learn different kinds of hospitality and consider how to materialize into practice. To have a deeper understanding of the term "hospitality", it is necessary to comprehend the characteristics and relevance between the airline and service industry. The course will consist of the following interactive approaches and activities: a) Discussions on related newspaper articles. b) Lectures using PowerPoint. c) Small group discussions. d) Submission of reports and giving feedbacks. By doing so, students will have a better understanding on the concept of hospitality. この講義では様々な事例を見ながら「ホスピタリティ」とは何かを考え、その答えを見出して行動に移すことを目指す。同時におもてなし、マナーへの理解を深めながらサービス産業関連会社の仕事内容と特性について学んでいく。講義の流れとしては、毎週の新聞記事の紹介、パワーポイントでの講義、小グループでの意見交換、レポート作成およびフィードバックを行う。ホスピタリティの概念について考え、最終的に自ら定義できるように導く。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	・毎週課せられる宿題を必ずこなす（1時間） ・毎回授業終了後、授業で学んだ内容を提出する（0.5時間） ・シラバスを読み、その週の講義テーマの内容を予習してくる ・日々国内外の日々のニュースを把握し、自分の見解を述べられる様に準備してくる  ・ Complete weekly homework assignments ・ Complete a survey on what they learned in class (complete after every class) ・ Check syllabus every week and prepare for upcoming topics ・ Check world news and prepare to share your opinions
フィードバックの要領 / Detail of feedback	全ての提出物に対してフィードバックを行う To submit class feedback very week
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Orientation ; Course Outline, Rules and Evaluation 第1週：オリエンテーション；講義概要、受講ルール、評価方法 Prepare and Review : Read syllabus 予習、復習のポイント：予め講義概要を読んでおくこと  Week 2: As a Global person understandings SDGs 第2週：SDGsを理解する国際人として Prepare and review: Research about global people and SDGs. 予習、復習のポイント：日本人の強みとは、弱みとは。 国際人として学ばなくてはならない事は何かを考える

SDGsについて学んでくる

Week 3: Airline Work ; The current situation about Cabin Attendant and SDGs

第3週：エアラインを支える仕事（客室乗務員）の現状とSDGs

Prepare and review: Search about cabin attendant's situation.

予習、復習のポイント：現在の客室乗務員の現状を調べてくる。

Week 4: Lead the service industry to economic effect and SDGs

第4週：観光産業がもたらす経済効果 / LCCとは SDGsを考えながら

Prepare and review: Search about tourism industry

予習、復習のポイント：エアライン、免税店、空港、ホテル、バス、ツアー会社との関連、LCC等を調べておく SDGsの深掘り

Week 5: Service industry and SDGs : Costumer Service at Airport

第5週：サービス産業とは・空港で働く SDGs 7.8.9

世界の空港、空港略語、各国の空港法律

Prepare and review: Search about airport industry

予習、復習のポイント：空港の仕事について下調べをしておく

Week 6: Hospitality and marketing (include SDGs )

第6週：企画書製作

Prepare and review: Prepare for presentation about start-ups

予習、復習のポイント：ホスピタリティーを感じる会社設立。

又は、震災復興計画、発展途上国をどう援助していくか。

SDGsに絡めた事業計画

Week 7 : Hotel industry and SDGs

第7週：日系、外資系ホテル産業について SDGsとの関連

prepare and review: Research the relationship between hotel industry and SDGs

予習・復習のポイント：ホテル産業とSDGsの関係性について調べてくる

Week 8; What is the definition of hospitality

第8週：お・も・て・な・し とは？

prepare and review: Submit report about " Hospitality" on T-NEXT

予習、復習のポイント：おもてなしについてレポート提出

Week 9: How to present yourself .

第9週：自己アピール、マナー SDGsを踏まえながら

Prepare and review : How to present the appealing aspects of yourself

予習・復習のポイント：各自自己PRを考えてくる

Week10 : World heritage and SDGs

第10週：世界遺産とSDGs

prepare and review : Find a world heritage that you want to research about

予習・復習：自分の好きな自国と他国の世界遺産について調べてくる

SDGsと世界遺産の関係性について考えてくる

Week 11: Consumer Services and SDGs

第11週：クレーム対応、消費者心理 そしてSDGs

prepare and review: Research about various kinds of complaints

予習、復習のポイント：様々なクレームについて調べておく

ショップ、ホテル、レストラン、等

Week 12 : Hospitality Industry and Olympic

第12週：オリンピックがもたらす経済効果

prepared review: How did the postponement of the Olympics affect the economy

予習、復習のポイント：以前の東京オリンピックの経済効果を調べ

2020年のオリンピックではどのような経済打撃があったか

SDGsと関連性を考えながら今後の経済動向を推測する

Week 13: Food culture and SDGs

第13週：食文化 とSDGs

prepare and review: Research about religious foods

予習・復習のポイント：各宗教の食事について調べてくる

Week 14 : Hospitality and Manners

第14週：ホスピタリティーを感じるマナー、立ち振る舞い、歩き方

prepare and review: Summarize what hospitality is

予習、復習のポイント：ホスピタリティーとは何かをまとめてくる

Week 15 : Test and Discuss about MH(I)

	第15週：期末テストと振り返り prepared review: Review and Test		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	無し		
指定図書 / Course Readings	A list of weekly readings will be given in the class 教科書は使用せず、随時資料を配布する		
参考文献 / Reference List	To be advised in the class 授業で紹介する		
評価方法 / Method of Evaluation	Learning attitude / 学習態度: 40% Homework・Presentation / 宿題・発表: 40% Class argument / 討議: 10% Final exam / 期末テスト: 10%		
事前履修科目等 / Prerequisite	特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	航空会社でのキャビンアテンダントの経験を活かし、現場に即したおもてなしやマナーを学ぶ。
留意点 / Additional Information	It is mandatory to attend the first class if you would like to take this course. Those who attend the class in the first week have guaranteed spots. 受講希望者は第1回の授業に必ず出席すること。第1回の授業に出席した学生に受講の優先権がある。		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅡ		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management II		
教員 / Instructor	藤本 正俊 (Fujimoto, Masatoshi)		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	fujimoto@tourism.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】		
アクティブ・ラーニングの方法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習		
到達目標 / Course Goals	Course objectives are: - To learn the basic theory of hospitality and the service marketing - To understand the whole of tourism business and travel agency - To develop the ability to problem recognition, hypothesis setting for solution and planning, presentation - To gain valuable job hunting experience ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。 ・観光事業全般と旅行業について理解する。 ・実践の場を通じて、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションスキルを身につける。 ・就職活動時に役立つ「経験」をする。		
講義の概要 / Course Description	- To understand the tourism industry as a whole and characteristics of the business travel industry. - To learn the basic theory of Hospitality and service marketing - In fact, doing fieldwork in specific region, excavation of the issue, hypothesis setting, planning, training to make a presentation. ・観光産業の全体像を把握した上で、旅行業の業務内容と特性について理解する。 ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。 ・実際に、特定エリアのフィールドワークを行って、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションまでのトレーニングを行う。 <b>【Supplementary Explanation】Presentation Training</b> "Tourism development planning contest that student makes" In this contest, each team plans the tourism development of the specific region, and it announces. The judge of this contest is done by the JTB employee. <b>【補足説明】プレゼンテーション実習</b> 「学生が作る観光まちづくりコンテスト」 チーム毎に地域の経済を活性化する企画を作成し発表する。		
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	Read the lecture materials posted on T-Next in advance (1.5 hours) Create an out-of-class assignment sheet as a review of the lecture content (1.5 hours) T-Nextにアップされている講義資料を事前に読んでおくこと (1.5時間) 講義内容の復習として授業外課題シートを作成する (1.5時間)		
フィードバックの要領 / Detail of feedback	Give feedback by commenting on the interim report 中間レポートに対してコメントを記入してフィードバックを行う		
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	Week 1: Introduction—What is“Kanko” ? 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: None Required 予習・復習のポイント： 特になし  Week 2: Service Marketing 第2週： サービス・マーケティング Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと  Week 3: Service Management 第3週： サービス・マネジメント Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと		

	<p>Week 4: Realities of tourism and travel market 第4週：旅行市場動向と観光産業の実態 Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 5: Variety of tourism industry 第5週：様々な観光産業 Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 6: Travel products and distribution channels in the Travel Industry 第6週：旅行業における販売チャネルと旅行商品 Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 7: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions I 第7週：地域交流ビジネス戦略(1) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 8: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions II 第8週：地域交流ビジネス戦略(2) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 9: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions III 第9週：地域交流ビジネス戦略(3) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 10: Fieldwork 第10週：フィールドワーク Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：フィールドワーク対象エリアの観光情報に目を通すこと</p> <p>Week 11: 第11週：グループワーク①（企画作成） Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 12: 第12週：グループワーク②（企画作成） Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 13: 第13週：グループワーク③ Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 14: How to create proposal and presentation technique 第14週：企画書の作成手法とプレゼンテーション技法 Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 15: Presentation Training 第15週：プレゼンテーション実習 Student Pre-Class Preparation: To prepare a proposal that was created in PowerPoint 予習・復習のポイント：パワーポイントで作成した企画書を用意すること</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	None 特になし（テーマに応じて紹介します）
指定図書 / Course Readings	None 特になし（テーマに応じて紹介します）
参考文献 / Reference List	None 特になし（テーマに応じて紹介します）



評価方法 / Method of Evaluation	Active Participation / 積極的な授業参加度: 10% Presentation / 発表: 20% Group Work / グループワーク: 30% Report / レポート: 10% Planning & Presentation at the week 15th class stage / 企画発表（第15週）: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None 特にありません。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	大手旅行会社JTBのシンクタンクJTB総合研究所から講師を招き旅行業を含む観光事業全般の事業内容・特性について実際の現場の状況を通して理解することを目指す。
留意点 / Additional Information	Indispensable Participation of Fieldwork and competition. フィールドワーク及びコンテストの出席が必須。 Fieldwork may be changed to a web survey depending on the status of Covid19 countermeasures. Covid19対策の状況によりフィールドワークはWeb調査に変更することがあります。		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅢ		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management III		
教員 / Instructor	森 紀人 (Mori, Norihito)		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ana-soken@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>Taking a global perspective on the airline business, one of the hospitality industries, we will analyze the maturity and development of the industry from various angles, and reach "one's own" realization in airline management, that is to cultivate the ability of problem finding and solving as well as value creation.</p> <p>The course is also designed to offer an introduction to the theory and practice of hospitality management.</p> <p>この講義は、ホスピタリティ産業の一つである航空産業(エアライン)をグローバルな視点から取り上げ、産業としての成熟・発展を多角的に分析し、航空会社経営を実務的に「我がこと」として体得する。          即ち、課題の発見・解決能力の涵養や価値創造力を修得することを目的とする。          また、この科目はホスピタリティ・マネジメントの理論と実践を学ぶ入門編としても構成されている。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we examine the history and development of international aviation, in particular, under the influence of airline deregulation, how the worldwide competition has been furiously promoted. As a vehicle to survive the fierce competition among airlines, we will discuss the characteristics of alliance, networks, revenue strategies and customer satisfaction, as well as commodity and brand strategies unique to airline business considering the future of airline industry.</p> <p>We also study the actual implementation of hospitality in the course of airline services.</p> <p>この講義では国際航空を中心に、航空の歴史と発展、とりわけ規制産業と言われてきた航空の枠組みが緩和・撤廃されることで世界レベルでの競争がますます激化する中で、熾烈な競争を勝ち抜く必要条件として、航空会社に特有なアライアンス/ネットワーク戦略、レベニュー戦略、CS・商品/ブランド戦略の仕組みをオムニバスのに解説し、これからの航空産業を考えます。          また、エアラインの運航サービスの実態を学び、ホスピタリティの実践を学修します。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Since a worksheet (WS) is imposed almost every time, you can study the materials uploaded in advance (1 hour) and fill in the blanks.</li> <li>Prepare for completion (0.5 hours) Complete the WS during / after the lecture (1.5 hours) and submit it by the specified date.</li> <li>・ For the times when the quiz is conducted, study the up materials in advance (1.5 hours).</li> <li>・ Preparation for the day in charge of the short presentation (1.5 hours)</li> </ul> <p>・ ほぼ毎回ワークシート (WS) を課すので、事前にアップされた資料を学習し(1時間)、穴埋めをしたり完成の準備をすること(0.5時間) 講義中/講義後WSを完成し (1.5時間)、所定の期日までに提出すること。          ・ 小テストを実施する回については、特に念入りにアップ資料を事前学習すること (1.5時間)          ・ ショートプレゼンの担当日の準備(1.5時間)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Report assignments will give feedback with scores and comments.</li> <li>・ In principle, the test will give feedback on the correct answer.</li> </ul> <p>・ レポート課題は評点・コメントを付してフィードバックします。          ・ テストは正解を原則、フィードバックします。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>1 &gt; Course orientation / Getting to know the aircraft</p> <p>第1回) オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Orientation</li> </ul> <p>オリエンテーション (講義の内容、進め方や評価方法等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Getting to know the aircraft/mechanism of flying/airport ..</li> </ul> <p>航空機/飛行原理/空港に関する基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aircraft development</li> </ul> <p>航空機の発達史</p> <p>◇Student Pre-Class Preparation:</p> <p>次回に向けて: 「交通サービスとしての航空運送の特性」及び</p>

「何故、第2次大戦後の民間航空の枠組みを規定する必要があったのか」について考えておくこと。

## 2 > History and characteristics of the airline industry

第2回) 航空産業（エアライン含む、以下同）の歴史と事業特性

- ・ History and development of airlines

航空会社の成立/発展

- ・ Characteristic of the Airline industry

航空産業の特性

- ・ How the international civil aviation has been regulated ?

民間国際航空の枠組み

◇次回に向けて：「航空運輸業などの寡占産業で規制がなされる理由」「航空規制撤廃・緩和の功罪」について考えてくること。

## 3 > Deregulation of the airline industry

第3回) 航空産業の自由化の流れ

- ・ Why the international civil aviation has been regulated ?

民間国際航空が規制されてきた理由

- ・ Deregulation at the US/EU/Japan

規制撤廃・緩和の歴史（米国・欧州・日本）

◇次回に向けて：「観光と航空需要のつながり」「空港が民営化されるメリットは何か？」について考えてくること。

## 4 > Tourism and airport as an infrastructure:

第4回) 観光産業とインフラとしての空港

- ・ Tourism market and Japanese tourism policy

観光市場と日本の観光政策

- ・ The role and feature of airport and privatization

空港の役割と実相、民営化方針

◇次回に向けて：「ネットワーク戦略が何故重要か」「アライアンスが進展してきた理由」について考えてくること。

## 5 > Network/Alliance strategy

第5回) ネットワーク／アライアンス戦略

- ・ Network strategy

マーケティング戦略としての航空ネットワーク

- ・ Alliance strategy

航空アライアンスとは何か、アライアンスの生育理由

◇次回に向けて：「航空運賃とはどういう商品か」「収入を最大化するための方策は」について考えてくること

## 6 > Revenue management strategy

第6回) レベニュー・マネジメント戦略

- ・ Revenue management

航空会社の収入最大化戦略

◇次回に向けて：「CS(顧客満足)とは何か」「ブランド戦略とは何か」について調べておくこと

## 7 > Customer satisfaction and brand strategies

第7回) CS/ブランド戦略

- ・ ANA's CS strategy

ANAの顧客満足戦略

- ・ ANA's brand strategy

ANAのブランド戦略

◇次回に向けて：「LCCはFSC（フル・サービス・キャリア）」とどう違うか考えておくこと

## 8 > Low Cost Carrier (LCC)

第8回) LCCの生成と発展

- ・ Background of LCC's emergence and its growth in comparison with FSC

格安航空会社誕生の背景と成長（フルサービス・キャリアとの対比）

◇次回に向けて：「航空貨物運送が他の貨物運送と違うところは何か」を考えておくこと

## 9 > Air Freight

第9回) 航空貨物

- ・ The difference between passenger service and air cargo

旅客運送と貨物運送の相違

- ・ The role and necessity of air freight at the marketplace

市場における航空貨物の役割と必要性

◇次回に向けて：「航空機の運航」はどのように制御され何を重要視しているか考え、航空運送の特質を考えておくこと。

## 10 > Airport operation

第10回) 空港オペレーション

- ・ Aircraft operation and its related works

航空機の運航とそれを支える仕事

◇次回に向けて：「パイロット／CA／オペレーション・サポート／整備の仕事」の概略と特質、共通点等を調べておくこと。「旅客業務で大切とされていること」「航空機の周りです仕事」にどんなものがあるか調べておくこと。

	<p>1 1 &gt; Flight Operation staff and Passenger, Ground Handling 第 1 1 回) 運航業務及び地上係員の仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ The feature of Pilot/Cabin Attendant/Operation Support/Maintenance works 運航の仕事 (パイロット/CA/オペレーション・サポート/整備)</li> <li>・ The feature of Passenger Handling service and Ground Handling works 旅客/グランド・ハンドリングの仕事</li> </ul> <p>◇次回に向けて:「企業が社会で求められること」、「持続的に存続するために社会的に果たすべき役割・事項」は何か考えておくこと。</p> <p>1 2 &gt; CSR/SDGs/ESG 第 1 2 回) 企業の社会的責任 (CSR) SDGs、ESG投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ANA's CSR/SDGs action throughout its business 本来的事業活動を通じたANAのCSR・SDGsを学ぶ</li> <li>・ The significance of ESG investment ESG投資の重要性</li> </ul> <p>◇次回に向けて:ダイバーシティ&amp;インクルージョンとは何かを調べ、社会へ出て働く上で「今の時代に求められるもの」は何か、 学生時代に何をしておくべきか考えておくこと。</p> <p>1 3 &gt; Diversity and Inclusion 第 1 3 回) ダイバーシティ&amp;インクルージョン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Corporate action towards D&amp;I 多様な人財の登用に向けた企業の取り組み</li> <li>・ Promised human resource in the era of Society 5.0 ・ Society 5.0時代に求められる人財像</li> </ul> <p>◇次回に向けて:「安全」を追求するためにはどんな仕組みが必要か考えておくこと。</p> <p>1 4 &gt; Air Safety 第 1 4 回) 航空の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Air safety is the ultimate mission of airlines 航空の安全は航空会社の最大の使命</li> </ul> <p>◇次回に向けて:イノベーションとは何かを考える。デジタル技術の進化に伴う産業の変化、 ドローンを初め新しいモビリティの登場の報道等を調べる。</p> <p>※ You will take the Class Final Test on the last session of next class. 次回の授業の最後に期末テストを実施します。</p> <p>1 5 &gt; Innovation, Class Final Test 第 1 5 回) イノベーション + 期末テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空の分野におけるイノベーションとANAの取り組み Innovation in the field of airline industry and ANA's undertaking</li> </ul>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	None/なし。 Lecture materials are projected / electronically distributed each time./講義資料は毎回、投影/電子配布。		
指定図書 / Course Readings	None/なし。		
参考文献 / Reference List	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『航空産業入門 第2版』(株)ANA総合研究所 東洋経済新報 2017</li> <li>・ 『航空の経済学』村上英樹 他 ミネルヴァ書房 2006</li> </ul>		
評価方法 / Method of Evaluation	Class Participation (Work Sheet, Short Presentation, Mini Test) / 平常点: 40% Active Participation/ 主体的な授業参加度 :10% Mid-Term, Term-End Report / 中間・期末レポート : 30% In Class Final Test / 学期末試験 : 20%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None/なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。
留意点 / Additional Information	None/なし		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅣ		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management IV		
教員 / Instructor	齋藤 享子 (Saito, Kyoko)		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	k.sai10.1998@gmail.com

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの方法 / Methods of Active Learning	<p>☑ディスカッション、ディベート</p> <p>☑グループワーク</p> <p>☑プレゼンテーション</p> <p>☑フィールドワーク</p> <p>☑実習（問題解決型・プロジェクト）</p>
到達目標 / Course Goals	<p>In this subject, students will acquire both "knowledge" and "experience knowledge", and each person will gain the consciousness of "being able to", enhance "self-efficacy", and "relationship between oneself and the hospitality industry". The goal is to be able to explore positively and look at the future path. In addition, through these things, we aim to foster the awareness of "Tama Glocal Human Resources" that our university is aiming for.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Understand "total image of hospitality industry" and "basic industrial structure and characteristics"</li> <li>・ I was able to understand the "basic organization / structure, characteristics" of the hotel industry and the restaurant service industry.</li> <li>・ "Hospitality mind" &amp; "competency / ability" required for hotel industry, restaurant service industry, etc.</li> </ul> <p>I was able to understand and cultivate "requirements"</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I was able to understand and carry out the roles and activity requirements for the "project" required for work.</li> <li>・ About "problem solving" required for work, "how to extract problems, how to analyze, how to set hypotheses" through practice</li> </ul> <p>I gained experience and knowledge by understanding "how to make a plan, how to make a presentation"</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I was able to practice "active learning"</li> <li>・ I was able to understand and have a sense of globality and aspirations as a "Tama glocal human resource"</li> </ul> <p>この科目は、「知識」と「経験知」双方の修得を図り、一人ひとりが「～できた」という意識を得て「自己効力感」を高め、「自分自身とホスピタリティ産業との関係性」をポジティブに探究し今後の道筋を見つめることができるようになることを目標とする。また、それらのことを通して、本学が目指す「多摩グローバル人材」という意識の醸成を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホスピタリティ産業のトータルイメージ」と「基礎的な産業構造、特性」等を理解できた</li> <li>・ホテル産業、外食サービス産業の「基礎的な組織・構造、特性」等を理解できた</li> <li>・ホテル産業、外食サービス産業等に求められる「ホスピタリティ・マインド」と「コンピテンシー/能力要件」が理解でき醸成できた</li> <li>・仕事で必要になる「プロジェクト」についての役割・活動要件を理解し遂行できた</li> <li>・仕事で必要になる「問題解決」について、実践を通して「問題抽出の仕方、分析の仕方、仮説設定の仕方、企画立案の仕方、プレゼンテーションの仕方」を理解し、経験知を得られた</li> <li>・「アクティブに学ぶ（アクティブ・ラーニング）」ということが実践できた</li> <li>・「多摩グローバル人材」としての志やグローカリティ意識を理解し持つことができた</li> </ul>
講義の概要 / Course Description	<p>This course focuses on the "hotel industry" and "restaurant service industry" with a bird's-eye view of the hospitality industry as a whole, and specifically learns the key factors. In addition, in order to emphasize not only the general logical solution but also the exploration of "the relationship between oneself and the industry", one thinks and investigates oneself, discusses with others, and embodies one's thoughts. Practice learning. To that end, we will manage classes with a large weight on group work, project learning, fieldwork, and opportunities for consideration.</p> <p>この科目は、ホスピタリティ産業全体の俯瞰イメージを持ったうえで、「ホテル産業」と「外食サービス産業」に焦点を当て、そのキーフaktorについて具体的に学ぶ。また、概論理解だけではなく「自分自身と、その産業の関係」を探索していくことを重要視するため、自分自身で考え・調べ、他者と討議し、自分の思考を具現化していく学修を実践する。そのために、グループワーク、プロジェクト学修、フィールドワーク、考察機会等の比重を大きくとった授業運営を行う。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Read the textbook in advance as a preliminary study for the lecture theme (1.5 hours).</li> <li>・ Be sure to work on and prepare for the assignments submitted as homework and bring them to the designated class (1.5 hours).</li> <li>・ If the issue is to make a plan and announce it in a group, be sure to share it with the group and prepare (1.5 hours).</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義テーマに対する事前学習として教科書を事前に読んでおくこと（1.5時間）。</li> <li>・ 宿題として提出された課題に取り組み準備し、必ず指定された授業回に持参してくること（1.5時間）。</li> <li>・ グループで立案発表することが課題である場合は、必ずグループで共有して準備してくること（1.5時間）</li> </ul>
フィードバックの要領 /	Performed by "Q & A" in T-NEXT

Detail of feedback	T-NEXT内の「Q&A」にて行う
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction  第1週：イントロダクション《感動創造産業へようこそ！》  ・この授業の狙い、進め方、評価方法等  ・ホスピタリティの基礎理解とチームビルディング  ・「この授業へ臨む目的・意志」の確認  Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions  予習・復習のポイント：シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: The picture of hospitality industry  第2週：ホスピタリティ産業の全体像  ・全体像の俯瞰  ・ホスピタリティ産業のトータルイメージを持つ  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 3: Welcome to hotel industry! (1)  第3週：ホテル産業へようこそ！(1)  ・近代ホテル経営に至るまでの歴史的経緯  ・ホテル産業の基礎的な組織・構造、特性等を理解する  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 4: Welcome to hotel industry! (2)  第4週：ホテル産業へようこそ！(2)  ・ホテル産業の価値、魅力、仕事の精神①  ・「ザ・リッツ・カールトン・ホテル」から学ぶ課題と展望  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 5: Welcome to hotel industry! (3)  第5週：ホテル産業へようこそ！(3)  ・ホテル産業の価値、魅力、仕事の精神②  ・「星のリゾート」から学ぶ課題と展望  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 6: Feelings of work in a hotel  第6週：ホテルの仕事の喜怒哀楽  ・ホスピタリティ職の喜怒哀楽を感じる  ・ホテリエの声  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 7: Welcome to food service industry! (1)  第7週：外食サービス産業へようこそ！(1)  ・外食サービス産業の歴史、基礎的な組織・構造、特性等を理解する  ・ライセンス展開、F C展開、ドミナント・デザイン、国際化戦略  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 8: Welcome to food service industry! (2)  第8週：外食サービス産業へようこそ！(2)  ・外食サービス業の価値、魅力、仕事の精神①  ・「ドトールコーヒー」から学ぶ課題と展望  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 9: Welcome to food service industry! (3)  第9週：外食サービス産業へようこそ！(3)  ・外食サービス業の価値、魅力、仕事の精神②  ・「W D I」から学ぶ課題と展望  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 10: Project Based Learning (1) —Challenge to impressed creation industry—  第10週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL (1)  ・オリエンテーション、課題提示、各自検討・調査  ・問題解決手法の説明指導  Student Pre-Class Preparation:  予習・復習のポイント：テキストを読んでおくこと</p> <p>Week 11: Project Based Learning (2) —Challenge to impressed creation industry—  第11週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL (2)</p>

	<p>・問題解決討議～解決策立案①</p> <p>・立案～企画書策定手法の説明指導～プロジェクト作業</p> <p>Student Pre-Class Preparation:</p> <p>予習・復習のポイント：チームでの活動計画を共有しておくこと</p> <p>Week 12: Project Based Learning（３）－Challenge to impressed creation industry－</p> <p>第12週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL（３）</p> <p>・問題解決討議～解決策立案②</p> <p>・プレゼンテーション手法の指導</p> <p>Student Pre-Class Preparation:</p> <p>予習・復習のポイント：チームでの活動計画を共有しておくこと</p> <p>Week 13: Project Based Learning（４）－Challenge to impressed creation industry－</p> <p>第13週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL（４）</p> <p>・問題解決討議～解決策立案③</p> <p>・プレゼンテーション手法の指導</p> <p>Student Pre-Class Preparation:</p> <p>予習・復習のポイント：チームでの活動計画を共有しておくこと</p> <p>Week 14: Project Based Learning（５）－Challenge to impressed creation industry－</p> <p>第14週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL（５）</p> <p>・プレゼンテーション（コンテスト形式）①</p> <p>・評価ポイントの説明指導、相互評価</p> <p>Student Pre-Class Preparation:</p> <p>予習・復習のポイント：チームでのプレゼン内容を共有し練習しておくこと</p> <p>Week 15: Project Based Learning（６）－Challenge to impressed creation industry－</p> <p>第15週：感動創造産業へのチャレンジ！ 問題解決学修/PBL（６）</p> <p>・プレゼンテーション（コンテスト形式）②</p> <p>・選考～顕彰～相互評価</p> <p>・振り返り</p> <p>・期末レポート「この授業に臨んだ自分の振り返り」</p> <p>Student Pre-Class Preparation:</p> <p>予習・復習のポイント：チームでのプレゼン内容を共有し練習しておくこと、及び各自がこの授業を振り返ること</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	『ホスピタリティ・マネジメントⅣ 2021年版』NKS能力開発センター、2021年（授業内で配布します）		
指定図書 / Course Readings	None/特になし		
参考文献 / Reference List	None/特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	<p>「授業への出席及びレポートの提出」で出席とし、下記評価を行う（出席のみ、レポートのみ、では評価しない）。</p> <p>Class Participation / 平常点: 15%</p> <p>Active Participation / 主体的授業参加度: 30%</p> <p>Report / レポート: 30%</p> <p>Planning &amp; Presentation / 発表: 25%</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	It is not required, but I would like to take "Hospitality Management I" できれば「ホスピタリティ・マネジメントⅠ」の履修を望む。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	ホテル産業、外食サービス産業に強いNKSから講師を招き、上記産業のトータルイメージ、産業構造・特性について具体的に学ぶ。
留意点 / Additional Information	<p>・ Please note that "attendance at class and submission of report" (attendance only, report only, not considered attendance).</p> <p>・ Please note that "Problem-based learning / participation in PBL is required" (if you do not participate in problem-solving learning / PBL, you will not be evaluated).</p> <p>・「授業への出席及びレポートの提出で出席とする」ので注意すること（出席のみ、レポートのみ、では出席とみなさない）。</p> <p>・「問題解決学修/PBLへの参加が必須」なので注意すること（問題解決学修/PBLに参加していない場合は評価しない）。</p>		

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅴ（世界遺産検定3級対策講座）		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for Hospitality Management V		
教員 / Instructor	根本 潤子（Nemoto, Junko）		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	sekaken@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。</li> <li>・第44回世界遺産検定（2021年7月開催）での3級資格取得を目指す。（別途申込要）</li> <li>・ to understand “divers values” and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage.</li> <li>・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 3.</li> </ul>
講義の概要 / Course Description	<p>世界遺産検定 3 級の対策講座です。世界の有名な遺産100件と日本の遺産全23件(2021年4月現在)の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。</p> <p>The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 3. We will study all 23 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 100 world heritage sites. We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。（1時間を要する）</li> <li>・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと（1時間を要する）</li> </ul>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	リアクションペーパーを返却の際に総括のコメント、また質疑応答にてフィードバックをする。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション：なぜ世界遺産を学ぶのか Student Pre-Class Preparation: read the course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: History and background of World Heritage 第2週：世界遺産の基礎知識 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント： 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 3: World Heritage Sites in Japan (1) 第3週：日本の世界遺産① Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 4: World Heritage Sites in Japan (2) 第4週：日本の世界遺産② Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 5: 第5週：World Heritage Sites in Japan (3) Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p>



<p>Week 6: World Heritage Sites (1) (Cultural Sites)  第6週：世界の文化遺産①  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 7: World Heritage Sites (2) (Cultural Sites)  第7週：世界の文化遺産②  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 8: World Heritage Sites (3) (Cultural Sites)  第8週：世界の文化遺産③  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 9: World Heritage Sites (4) (Cultural Sites)  第9週：世界の文化遺産④  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 10: World Heritage Sites (5) (Cultural Sites)  第10週：世界の文化遺産⑤  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 11: World Heritage Sites (6) (Natural Sites)  第11週：世界の自然遺産  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 12: Review test  第12週：検定直前確認テスト  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 13: Answers and explanations of the test of world heritage  第13週：検定3級の回答・解説  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 14: Full review of week 1 to 13.  第14週：今までの総復習  Student Pre-Class Preparation: look through the textbook  予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 15: Group work and Presentation  第15週：グループワークと発表  Student Pre-Class Preparation: prepare and review of group work  予習・復習のポイント：グループワークの復習</p>			
<p>週ごとの授業計画 2 / Weekly  Schedule 2 ※上段、文字数  超過分を記載</p>			
教科書 / Textbook		きほんを学ぶ世界遺産100＜第3版＞ 世界遺産検定 3 級公式テキスト	
指定図書 / Course Readings		なし	
参考文献 / Reference List		くわしく学ぶ世界遺産300＜第4版＞ 世界遺産検定 2 級公式テキスト	
評価方法 / Method of Evaluation		確認テスト/ review test : 40% 毎回提出の小テスト/ assignment : 30% 平常点/ attendance : 30%	
事前履修科目等 / Prerequisite		特になし	
実務経験 / Work Experiences		有	<p>授業への実務経験の活用 /  Practical Contents</p> <p>国際企業での勤務を経験した後、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。</p>

留意点 / Additional Information	<p>世界遺産検定3級（団体受検料金4400円）の申込方法は別途、授業内で案内します。 成績に関して、世界遺産検定受検で5%、合格者にはさらに10%を別途加点する。（※検定が中止になった場合は別途課題で対応する。）</p> <p>Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class. Additional point will be added to the evaluation by applying the Test of World Heritage Study (5%), by passing the Test of World Heritage Study (10%).</p>
------------------------------	--

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメント特別講義VI（世界遺産検定2級対策講座）		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for Hospitality Management VI		
教員 / Instructor	根本 潤子（Nemoto, Junko）		
分野 / Division	Elective / 選択 (HM)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	sekaken@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断【考え抜く力】 ○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	□ディスカッション、ディベート ☑グループワーク（ペアワーク） ☑プレゼンテーション □フィールドワーク □実習
到達目標 / Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。</li> <li>・第44回世界遺産検定（2021年7月開催）での2級資格取得を目指す。（別途申込必須）</li> <li>・ to understand “divers values” and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage.</li> <li>・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 2.</li> </ul>
講義の概要 / Course Description	<p>世界遺産検定2級の対策講座です。世界の有名な遺産300件と日本の遺産全23件(2021年4月現在)の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。</p> <p>The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 2. We will study all 23 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 300 world heritage sites. We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。（1時間を要する）</li> <li>・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと（1時間を要する）</li> </ul>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	リアクションペーパーを返却の際に総括のコメント、また質疑応答にてフィードバックをする。
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション なぜ世界遺産を学ぶのか Student Pre-Class Preparation: read the course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: History and background of World Heritage 第2週：世界遺産の基礎知識 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 3: World Heritage Sites in Japan (1) 第3週：日本の世界遺産① Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 4: World Heritage Sites in Japan (2) 第4週：日本の世界遺産② Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 5: World Heritage Sites in Japan (3) 第5週：日本の世界遺産③ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p>

	<p>予習・復習のポイント教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 6: World Heritage Sites (1) (Cultural Sites) 第6週：世界の文化遺産① Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 7: World Heritage Sites (2) (Cultural Sites) 第7週：世界の文化遺産② Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 8: World Heritage Sites (3) (Cultural Sites) 第8週：世界の文化遺産③ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 9: World Heritage Sites (4) (Cultural Sites) 第9週：世界の文化遺産④ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 10: 第10週：World Heritage Sites (5) (Cultural Sites) Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 11: World Heritage Sites (Natural Sites) 第11週：世界の自然遺産 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 12: Review test 第12週：検定直前確認テスト Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 13: Answers and explanations of the test of world heritage 第13週：検定2級の回答・解説 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 14: Full review of week 1 to 13. 第14週：今までの総復習 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: Group work and Presentation 第15週：グループワークと発表 Student Pre-Class Preparation: prepare and review of group work 予習・復習のポイント：グループワークの準備と復習</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	くわしく学ぶ世界遺産300＜第4版＞ 世界遺産検定 2 級公式テキスト		
指定図書 / Course Readings	なし		
参考文献 / Reference List	なし		
評価方法 / Method of Evaluation	確認テスト / review test : 40 % 毎回提出の小テスト / assignment : 30 % 検定試験 / result of the Test of World Heritage Study : 30 %		
事前履修科目等 / Prerequisite	なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	国際企業での勤務を経験した後、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。

2021/5/6		T-NEXT	
留意点 / Additional Information		世界遺産検定2級（団体受検料金5500円）の申込方法は別途、授業内で案内します。 Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class.	

講義年度 / Year	2021年度		
科目名 / Course Title	簿記		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Bookkeeping		
教員 / Instructor	林 雄一郎 (Hayashi, Yuichiro)		
分野 / Division	Elective / 選択 (IS)	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	hayashi@tama.ac.jp

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>○(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<p>□ディスカッション、ディベート</p> <p>□グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□フィールドワーク</p> <p>☑実習</p>
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to acquire knowledge which levels at “Nissho Boki 3rd Grade”.</p> <p>The goals of this course are:</p> <p>-To understand bookkeeping-process flow, for instance, journal entries, posting an item in the general ledger, preparing trial balances, closing adjustment, preparing working sheets and financial statements and procedure of closing the books.</p> <p>-To be able to do basic accounts processing in business.</p> <p>日商簿記検定試験3級程度の知識の修得を目指す。具体的には、「取引の仕訳」、「総勘定元帳への転記」、「試算表の作成」、「決算整理」、「精算表の作成」、「財務諸表の作成」、「帳簿の締め切り」といった、一連の簿記の流れをマスターし、経理実務における基本的な処理が行えるようになることが目標となる。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In the world, there are many organizations carrying out various activities, for instance, famous companies, schools, temples, hospitals, NPOs and retail stores and restaurants, etc. All of these organizations prepare financial statements for their own management and fulfilling accountability about their track record to stakeholders (a country, a local government, a bank, a stockholder, a client) surrounding them. The financial statements must be made in accordance with the rules, as many people can understand easily. The method for preparing the financial statements by the rules is “bookkeeping”. If you master bookkeeping, you can understand the outline of the track record of organizations. This course helps you understand the whole picture of bookkeeping on a premise for a merchant and prepare a simple financial statement. In other words, this course deals with the bookkeeping-process flow, and it also enhances students' skills in basic accounts processing by doing exercises.</p> <p>世の中には、いろいろな活動をしている数多くの組織がある。すぐに思い浮かぶような有名な会社、学校、お寺、病院やNPO、また身近にある小売店や飲食店など実に様々なものがある。これらの組織は必ず財務諸表（いわゆる決算書）を作り、自らの経営に役立てるとともに、組織を取り巻く利害関係者（国や地方自治体、銀行、株主、取引先など）に自らの業績を説明する責任を負っている。財務諸表は多くの人が見て分かるように、決められたルールにより作成されることになっている。この決められたルールにより財務諸表を作る技術が簿記である。逆の見方をすると、簿記を習得すれば、財務諸表を見て組織の業績がある程度分かるようになる。この講義では、小さな商人を前提とした、簿記の全体像を理解し、簡単な財務諸表を作成できるように支援する。すなわち、簿記の始めから終わりまでの一連の流れにつき、順を追って説明するとともに、それぞれの項目に関連する問題を解くことで理解を深め、基本的技術をマスターできるようにする。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>・ You are expected to review the lessons and do exercises in the textbook as a review. (Three hours)</p> <p>・ 講義後の内容の復習、教科書の問題演習など（3時間）</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>About exercises: After finishing exercises, you check your answers with the explanation.</p> <p>答練に関して、答練終了後に、自分の解答と正解を照らし合わせて確認してもらいながら、ポイントを押さえた解説を行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: (1) orientation (2)①What is “Bookkeeping”? ②Bookkeeping - Process Flow 第1週：(1) オリエンテーション (2) ①簿記って何 ②簿記の流れ</p> <p>Preparation: You do not have to prepare this class. Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review. 予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。</p> <p>Week 2: a Fundamental Knowledge of Bookkeeping</p>

## 第2週：簿記の基礎

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 3: Buy and Sell

## 第3週：商品売買

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 4: Cash and Bank

## 第4週：現金預金

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 5: Notes and Electronically Recorded Monetary Claim

## 第5週：手形と電子記録債権（債務）

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 6: Fixed Assets

## 第6週：固定資産

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 7: Other Transactions

## 第7週：その他の取引

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 8: Account Book

## 第8週：帳簿

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 9: Trial Balance

## 第9週：試算表

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 10: Slip and Daily Balance Processor for Journal Entries

## 第10週：伝票と仕訳日計表

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 11: Account Closing Procedures I

## 第11週：決算手続 I

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

## Week 12: Account Closing Procedures II

## 第12週：決算手続 II

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

	<p>Week 13: Account Closing Procedures III 第13週：決算手続III</p> <p>Preparation: You do not have to prepare this class. Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review. 予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。</p> <p>Week 14: Exercises and Explanations of Comprehensive Exercise I (past exam questions etc.) 第14週：総合問題Ⅰ（過去問題等）の答練及び解説</p> <p>Preparation: Review the contents of 1-13. Review: Repeat the comprehensive exercise I. 予習・復習のポイント：予習は第13週までの内容を再確認しておくこと。復習として、総合問題Ⅰを複数回、解き直すこと。</p> <p>Week 15: Exercises and Explanations of Comprehensive Exercise II (past exam questions etc.) 第15週：総合問題Ⅱ（過去問題等）の答練及び解説</p> <p>Preparation: Review the contents of 1-13. Review: Repeat the comprehensive exercise II. 予習・復習のポイント：予習は第13週までの内容を再確認しておくこと。復習として、総合問題Ⅱを複数回、解き直すこと。</p> <p>Depending on a progress, we may change the course contents and weekly plan. ※ 授業の進行状況により各週に行う項目は前後することがある。</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の教科書 日商3級商業簿記 第9版』TAC出版、2021年 滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の問題集 日商3級商業簿記 第9版』TAC出版、2021年		
指定図書 / Course Readings	None 特になし		
参考文献 / Reference List	None 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Active Participation / 主体的（積極的）な授業参加度:20% Quiz / 小テスト:30% Final Exam / 学期末試験: 50%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。
留意点 / Additional Information	1.Bring a calculator with you. 2.This course will be conducted in Japanese.  1. 授業には電卓を持参のこと 2. 本科目の講義は日本語で行う。		